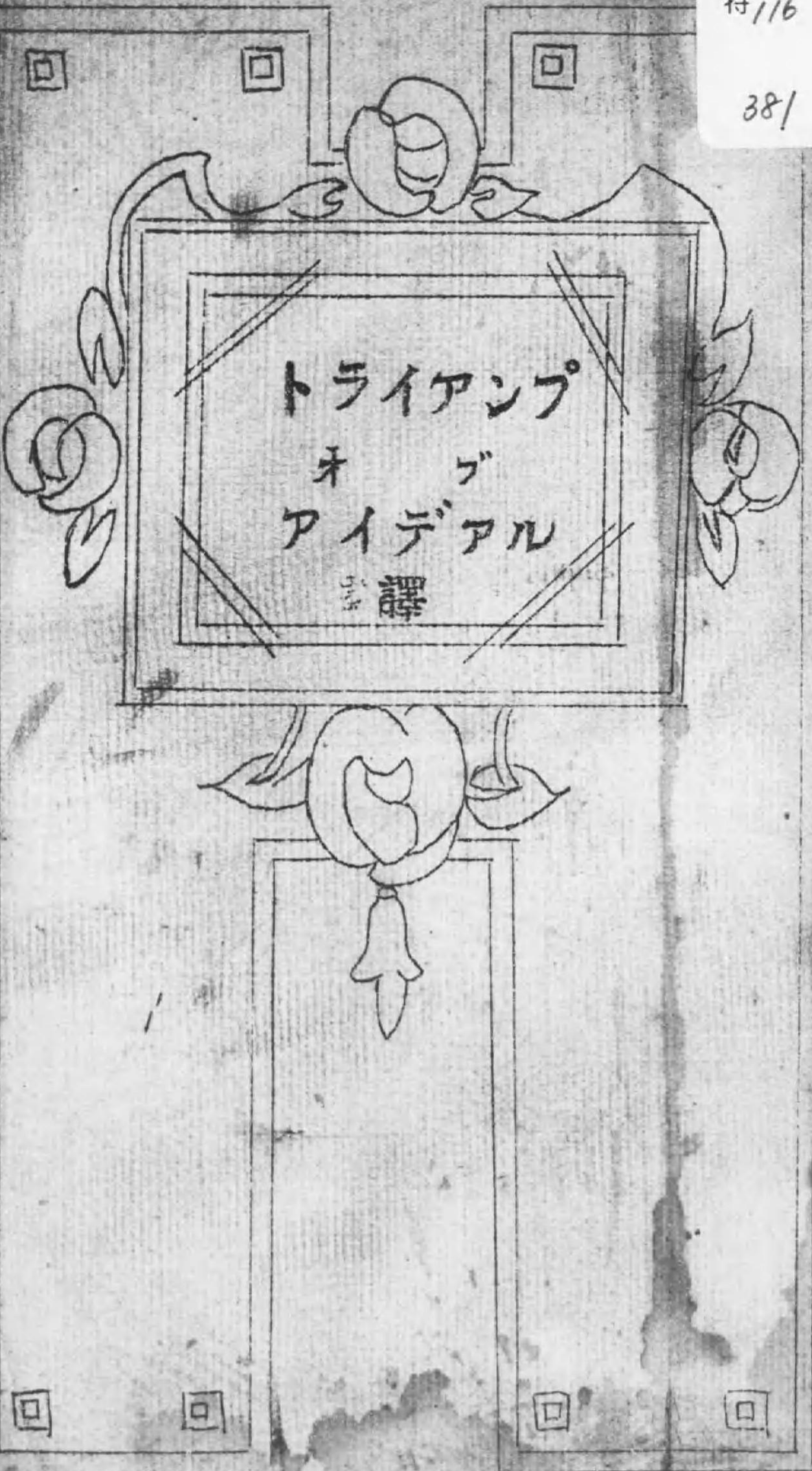


特116  
381



始



持116  
381



ライアンプ

譯

大正  
15. 7. 1  
内装

*Faint handwritten text, possibly a signature or date, written vertically on the right page.*



トライアンフ・オブ・アイディアス

第



トライアンフ・オブ・アイディアス

第一章 永久ノ平和

(一九一七年一月廿二日合衆國上院ニ於ケル演説)

上院ノ諸君——去ル十二月十七日、余ハ交戦國政府ニ對シ同文通牒ヲ發シテ、以ツテ、尙未談交戦兩國停ニヨリテ速マシタルトコロニヨリ更ニ明確ニ、彼等ガ平和ノ招来ヲ可能ナラシムベシト思維スル條件ヲ陳述スヤキコトヲ要求シタルヲテアル。余ハ人道ノ為メニ説キ、我國ノ如キアラユル中立國ノ権利ノタメニ譲ラトコロガアツタ、即チ彼等中立國ガ此戰爭ニヨリテ極メテ重大ナル多クノ利益ヲ絶エサル危險ニ置カレテ居ルノテアル。

主タル列強ハ皆一致シテ解答ヲナシ、平和條件ヲ論議スヘキ商議ニ於

テ、其敵國ト会スル用意ニアリト建ベクノニ過ギナカツタ。  
同盟列強ハ更ニ明確ナル解法ヲ與ヘ、實ニ一般の條件ヲモ陳述シタノ  
テアルガ、細目、配分、保証、並ニ彼等ガ以テ満足ナル解決ニ不可缺ノ  
條件ナリトナス報償條項等ヲ示スニ足ル明確性ヲ缺イタイタノデアル。  
此如道、吾人ハ現時ノ戰爭ヲ終結セシムベキ平和ニ関スル明確ナル論議ニ  
接近シテキルノデアル、此如道吾人ハ、爾後、世界ニ平和ヲ確保スベキ  
國際觀念ノ論議ニ接近シテイルノデアル、此ノ戰爭ヲ終結セシムベキ平  
和ノ凡ユル論議ニ於テハ、平和ニ依ルハシムルニ或ル一定ノ權力ヲ以テス  
ル、即チ、カ、ル災禍ノ再ビ吾人ヲ压倒スベキヲ事實上不可能ナラシム  
ル權力、ヲ以テスベキコトハ一般ニ認めラルトコロデアル、人類ヲ愛  
スル凡ユル人共、正負懸絶ノ凡ユル人士ハ、之ヲ以テ當然ノコト、セラ  
ルニ相違ナイ。

亞米利加政府ノ義務

余ハ斯ク諸君ニ向ツテ演説スル其機会ヲ求メタイタノデアル、何トナ  
レバ、議會ノ諸君ハ、國際義務ニ関スル最後ノ決定ニ於テ、余ニ参劃セ  
ラルルガ故ニ、各國間ノ平和ノ基柢ヲ、新々ニ新ラシキ計畫ノ上ニ置カ  
ネバナラヌ將來ノ其日ニ我政府ノ取ルベキ義務、此ノ義務ニ関シ、余ノ  
心中ニ形成サレ未ツタ考慮ト目的トヲ諸君ニ同陳シテ餘蘊ナカラシムル  
ハ、諸君ニ対スル余ノ義務ナリト考フルヲ以テハ、アル、  
右ノ偉大ナル事業ニ対シ各親國ノ国民カ何等ノ役ヲモ演セヌト云フコ  
トハ考ヘラレナイ所デアル、彼等ノ事業ト力トヲ擧ゲテ、出来得ル限り  
人類ニ自由ヘノ道ヲ示サウトノ高ク榮アル希望ヲ抱キ、彼等ガ一新國民  
トシテ立ツタ時カラ、其ノ國體ノ原則、目的ト其國政府ノ一般施政トヲ  
用意シテ待ツタ當ノ目的ノ機会トハ即チ、カ、ル奉仕ニ参加スルコトソ  
ノコトデアルテアラウ、彼等ガ今將ニ要求サレントシテイル奉仕ヲハ差  
扱ヘルト云フコトハ、名譽ニカケテモ出来ナイノデアル、彼等ハ之ヲ差  
扱ヘヤウトハ思ハナイ、然シテラ彼等カ自由ニ此ノ奉仕ヲ行ヘルト意ス

ル其ノ條件ヲ、陳述スルト云フコトハ、彼等自身ニ對スル義務デアリ、  
世界ノ他ノ國家ニ對スル義務デモアル、

其ノ奉仕トハ即チ、外ナラナイ、即チ彼等ノ有スル權威トカヲ  
他ノ國民ノ有スル權威トカニ加ヘ、依ツテ世界ニ適ク平和ト正義トヲ保  
証スルコトデアル、カクノ如キ解決ハ永ク遷延スルコトヲ許サレナイ、  
故ニ平和ノ實現ヲ公式義正ニ固守シテ可ナリト云フ義認、之ヲ本政府ガ  
國民ニ求メテ悖ラズト指ズル其ノ條件ヲ、右ノ解決ノ表ナイ前ニ公平ニ  
創案シヤウト云フコトハ正レイコトデアル、余ハ茲ニ之等ノ條件ヲ陳述  
シヤウトスルモノデアル、

### 戦争ハ終熄セシメネハナラヌ

現時ノ戦争ハユラ終熄セシメネハナラヌ、ケレ共、如何ナル方法、如  
何ナル條件ニヨツテ之ヲ終熄セシムベキカニ就テハ、我等ガ將來ノ平和  
ノ保証ニ參加シテ其ノ參加ノ閑スル限り、必ラ不異論百出スル、カクテ敢

テ云フ所以ノモノハ、畢竟我等ガ辛直デアリ、人類ノ意見ヲ正當ニ尊重  
スルカラコソデアアル、戦争ヲ終熄セシムベキ條約ト會議トハ、保証シ保  
持スル甲斐アル平和、早ニ戰ニ關係セル國民ノ、敬懼ノ利益ヲ直接ノ目  
的ニ依立ツ平和バカリデナク、人類ノ承認ヲ收斂スル平和、カハル平和  
ヲ造ルベキ條件ヲ具現セヌバナラヌデアアル、

吾人ハ之等ノ條件ガ如何ナル條件デアラウカヲ決定スベキ發言權ヲ持  
タナイデアラウ、ガガ世界會議ノ保証ニヨツテ、其條件ガ永続ナレルカ否  
カラ決定スベキ發言權ヲ吾人ガ持ツデアラウコトハ余ノ信ジテ疑ハナイ  
トコロデアアル、併シテ、恒久永続ノ前提條件トシテノ根本的、本質的ナ  
モノニ關スル吾人ノ見解ハ今日ニ於テコレヲ語ラレネハナラナイ、後日  
デアツテハナラナイ、ソノ時ハ既ニ餘リニ遅スギルデアラウ、

新世界ノ國民ヲ包含シナイ平和協商ノ會議ハ、戦争ヲ抑ヘテ未來ノ平  
和ヲ保ツニ足ラナイデアアル、而モ亞米利加國民ガ參加シテ保証シ得ベ  
キ平和ハ只一種ヲ措イテ外ニナイデアアル、其ノ平和ノ要件ハ亞米利加

諸政府ノ信託ヲ博シ、里米利加諸政府ノ原則ヲ充足セシムベキ要素ヲア  
ラネバナラナイ、其ノ政府ノ政治的信念ニ適合シ、里米利加國民カ尺一  
度抱懐シテ、之ヲ護ラントシタ實際的信念ニ適合スル要素デアラハハ  
ラナイ。

### 平和ノ保証者ヲ西矣ス

里米利加政府ニシテ舊モ、現文戰國政府ノ合意セル平和條件ニ對シテ  
障礙ヲ興ヘ、若クハ、其ノ條件ノ適不適ニ保ラズ、條件成立ト雖ニ之ヲ  
顛覆シヤウトシテイムナド、ハ、毫モ余ノ言ハントスル真意デハナイ、  
余ハ只、單ニ交戰國間大ケテ締結セラルル平和條件ガ交戰國自身ヲ満足  
スルモノガルベキヲ當然トシテ認ムルモノデアル、單ナル合意ハ平和ヲ  
確保シナイデアラウ、解決ノ承諾ヲ保証スルモノトシテ、或力ガ盡リ  
出サレルト云フコトハ絶対ニ必要ナコトデアル、其タル現ニ交戰中ノド  
ノ國家ノカヨリモ、或ハ今迄ニ形成サレ目論マレ末ウタドノ同盟ノカヨ

リモ更ニ大ナル力デアリ、因ツテ如何ナル國家乃至未來ノ如何ナル國家  
ノ聯合ト雖モ之ニ對抗シ之ト拮抗シ得サル力デナケレバナラナイ、現ニ  
造ラレントスル平和ニシテ之ヲ苟モ承諾セシメントスルナラハ、ソレハ  
多數人類ノ團結力ニヨツテ確保サルル平和デナケレバナラナイ、  
眼前ニ懷災サルル平和條件トハ、其平和カ右ノ如キ保証ヲ確保シ得ル  
平和ナリヤ否ヤヲ決定スルモノデアルデアラウ、世及全未來ノ平和ト政  
策トガ左右セラルル同類ハ即チ次ノ如クデアアル。

### 正義ト平和トノ為メノ戰爭

現時ノ戰爭ハ正義ノ平和、安全ノ平和ノ為メノ戰爭デアルカ、或ハ又  
新々ナルカノ平衡ヲ得ントスル戰爭ニ違ヤナイノデアルカ、若シモ新  
タナルカノ平衡ヲ得ントスル戰爭ニ違ヤナイノデアルナラハ、何人が  
新クニ生ズル安全ノ平衡ヲ保証スルデアラウカ、保証シ得ルデア  
ラウカ、平和ト政羅巴ヲ指イテ、安國ト政羅ハアリ得ナイ、其地ニハ

只單ニカノ均衡ノミナラス、カノ共有ガナケレバナラナイ。組織立ツタ  
相敵關係ニ非スシテ、固結シタ共同平和ガナケレハナラヌ。  
吾人ハ幸ニモ、此貞ニ固シテ極ク明確ナ誓約ヲ受ケテイル。現ニ相対  
峙スル國家団体、双方ノ政治環境ハ、誤解ヲシテ敵ハサル辭礼ヲ以テ  
其敵手ヲ粉砕スルテウ目的ガ些モ心中ニナイコトヲ言明サレタノデア  
カ、ル誓約ノ意義ハ、凡テノ人ニ明瞭デハナイデアラウ。洋ノ兩岸ニ於  
テ同一意義ニ解セラレヌダラウ。余ニモテ若シ吾人ノ見解ノ存スル所ヲ  
周知シマウトスルナラバ、ソハ何等カ行立ツトコロガアルデアラウ。

### 勝利ナキ平和

其ノ誓約ハ先ツ第一ニ、勝利ノナイ平和ヲ指イテ平和ナキコトヲ意味  
シテイル。カ、ル言葉ヲ口ニスルノハ愉快デハナイ。希ハクハ、勝利ト  
云フ言葉ニ関シ、余ガ余一他ノ見解ヲ附スルコトヲ許サレタイ、併シテ  
之以外ニ余ノ心中他ノ見解ナキコトヲ諒トセラレタイノデア  
ル。余ハ只

事實ニ直面シテ勝カニ隱蔽スルコトナシニ之ニ直面シヤウトスルモノデ  
アル。勝利トハ敗者ニ強制サレル平和デアリ。勝者ノ條件ガ敗者ニ課セ  
ラルルノ謂デアル。ソレハ威嚇サレ、過酷ノ犠牲ヲ払ヒ辱シテ兼認サ  
ルルモノデアリ。刺痛ト怨恨ト辛イ記憶トヲ殘シテ、此上ニ平和條件ガ  
成立サレルノデア  
ル。ソレハ永久約ナモノデア  
ナク、恰モ流砂ノ上ニ依  
立スルガ如クデア  
ル。

均等ナルモノノ間ニ結  
ハルル平和ノミガ永  
続シ得ル。  
均等ヲ以テ原則トシ、  
一他ノ共同利益ニ共  
同ニ参加スルヲ以テ  
原則ト  
スル平和ノミガ永  
続シ得ル。平和ヲ永  
続セシメンガためニ  
ハ権利ガ必要  
デア  
ル。コハ恰クモ紛  
糾セル領地問題ヤ  
乃至ハ民族、國民ノ  
並服問題ヤ  
ヲ正當ニ解決スルノ  
ガ必要ナト同ジ  
デア  
ル。  
國民ノ均等ハ之ヲ永  
続セシメントナラバ  
権利ノ均等ヲナケ  
レハナラ  
ナイ。國民ノ均等ノ  
上ニコソ平和ガ樹  
立ナレルノデア  
ル。相交換サルル保  
證ハ、大民族ト小  
民族ノ強カナルモ  
ト弱ナルモノ、コ  
ノ間ニ相遠  
ク

認めたり或へ其意義ヲ含レザリシテハナラナイノデアル。権利ハ各國民  
共同ノ力ヲ基礎トスルハナラズ。各國民ノ力ヲ基礎トシテハナラズ。各國民  
ノ権利ノ上ニコリテ平和ヲ依存スルノデアル。領土ノ均等。國富ノ均等  
ハアリ得ナイ。或へ又國民自ラノ平和ニシテ合法的ノ平等ノ發展ニ依ツ  
テ獲ラレタル均等ヲ除イテ他ノ均等ハアリ得ナイ。然レドモ。權利ノ均  
等次上ノモノハ何人トモ。之ヲ求メテ之ヲ維持ハシナイノデアル。人類  
ハ今日生活ノ自由ヲ曉望シテイル。力ノ均等ハ望レナイノデアル。

### 被治者ヲ尊敬セズハナラズ

併シテ組織的國家ノ間ニ存スル權利ノ均等ト雖モ蓋ク及ハサル深長ノ  
意義ヲ有スルモノガアル。政府ガ被治者ノ救済ニヨリテ其正當ノ權利ヲ  
有スル原則及ビ。人民ヲ治カモ財產ノ如クニ主權ヨリ主權ヘト渡シ廻ル  
權利ノ如キハ何物ニモ存在シテイナイト云フ原則。力ナル原則ヲ承認シ  
ナイ平和ハ。其ノ何ナルヲ向ヘズ永続シ得ナイ。又サスベキデモナイ。

余ガ取テハ何ノ實例ヲ掲グルコトヲ許サルトシテ之ヲ證スルニ。聯  
合被治シテ自治ヲ布ク波蘭ニ存在セルモノトハ政治家ノ一致シテ意見  
デアラウト余ハ認ムル。而シテ爾今生命宗教ノ不可侵。産業的社会的發  
達ノ不可侵ガ。從來自己ト反對ナル信仰及ビ目的ニ忠實ナ政府ノ權力ノ  
下ニ生活シ来ツタ凡ソ人々ニ保証サレルデアラウト余ハ認ムルモ  
ノデアル。

余ガ斯ク云フ所又ハ。亞米利加ニ自由ヲ建設セントシタ人々ニ常ニ觀  
シク抱懷サレタ抽象的ナ政治原則ヲ高唱シヤウタメテハナラズ。余ガ他ノ  
平和條件ヲ説キ来ツタト云フ其ノ理由アルガ故ニ外ナラナイ。余ハ實  
テ公明ニ説カントスルガ故ニ。コレヲ云ハサルヲ得ズト感セラレ  
ノデアル。此原則ヲ認メナイ平和ハ。スヤ願望セラレルデアラウトソウ  
シタ平和ハ人類ノ愛慕ヤ信念ニ立ツテキルノテハナイ。全人民ノ精神ハ  
離離シテ。カナル平和ニ向ヒ初カニ不測ノ戰ヒヲナシ。而シテ全世界ハ  
之ニ交感スルデアラウト。世界ハ其生活ノ安寧スル場合ニシテ平和デアリ



得ル。而モ意思ノ騒乱スルトコロ、精神ノ安樂ナラサルハ、正義、自由、  
権利ノナイトコロニ、安樂ト云フモノハアリ得ナイ。

### 海上ノ直出路ハ確保サルルヲ要ス

更ニ管々トシテ其ノ資源ト其勢カトヲ遺憾ナク發展セシメントスル凡  
ユル大國民ニ対シテハ、其未得ル限リ、海ト云フ大途ヘノ直出路ヲ確保  
サレヌベナラナイデアラウ。此輩タル若シ領土ノ割讓ニヨウテ行ハレサ  
ル場合ニアリテハ、平和リノモノヲ確保スヘキ一級保証ノ下ニ、直接通  
行权ヲ中立化スルコトニヨウテ、立ヲ行ヒ得ルハ疑ヒナイ所デアアル。正  
當ニ諒ヲ厚ウシテ設備スルトコロガアレバ、如何ナル國民ト雖モ、世界  
商業ノ公道ニ至ル自由ナ通路ヲ閉塞サルルニ及ハナイノデアアル。  
而シテ海ノ公路ハ法律上ニモ事實上ニモ存シテ自由デナケレバナラナ  
イ。海ノ自由ハ平和、均等、收斂ノ必要條件デアアル。従来確立セラレ  
トシタ多クノ國際慣習法ヲ稍々徹底的ニ再議スルト云フコトガ、凡ユル

實際的環境ニ於テ、海ヲ自由ニ共通ニ人類ノ用ニ供スルタメニ必要ナ  
ルベキハ疑フベクモナイ。然レドモ斯カル變化ヲ起ス動機ハ現ニ有辦ナ  
証左ヲ示シ、其必要ニ内直シテイルノデアアル。カ、ル變化ノナキ限リ世  
界各國民間ノ信賴モ親睦モアリ得ナイ。各國民カ自由ニ不断ニ脅威ナキ  
交通ヲスルト云フコトハ平和ト發展トノ重要ナル一過程デアアル。若シモ  
世界ノ諸政府ガ衷心ヨリ海ニ関スル條約ヲ得ント欲スルナラバ海ノ自由  
ヲ決定確保スルナラバ必ず困難デハナイノデアアル。  
コハ海ヲ自由且ツ安全ナラシメオク為メ、海軍々備ノ制限ト世界海軍  
ノ収束トニ密接ナ關係ヲ有スル問題デアアル。

### 陸海軍ノ制限ヲ要ス

併シテ海軍ノ軍備制限問題ハ凡ユル陸軍々備ノ豫定案ヲ制限スル更ニ  
廣大ナ、更ニ困難ナ制限問題ヲ同クニ至ラシメン。カ、ル問題ハ困難徹  
妙ナ問題デハアルガ、之ニヨウテ若シ多クノ幸福ヲ齎ラシ、永続スル平

和が好まざレルノデアルナラバ、精々辛直ニ之ヲ対シ、莫ニ謝免スル精  
神ヲ以テ之ヲ決志セホナラヌノデアル。

平和ハ互譲ヲ犠牲ヲ拂ハズニハ得ラレルモノデナイ、若シ大キナ互側  
約ナ軍隊ガ、今後絶エズ建設サレ維持サレテ行クナラバ、国民間ニ安全  
均等ノ意義ハアリ得ナイ、世思ノ政治家ハ復ラテ平和ヲ企圖セホハナラ  
ナイ、而シテ國民ハ、彼未彼等ガ戦争ヲ企畫シ、無情ナ競争敵対ニ用意  
シテ様ニ、其政策ヲ更改シテ平和ニ適応セシメホナラナイ、軍備ノ制  
限ハ、其ノ海上タルト陸上タルト同ハズ、國民、人類ノ未来ノ運命ニ  
関聯セル早急、非常ノ實際問題デアル。

余ハ亞米利加人ノ為メニ、沈黙セル多数人ノ為メニ云フ

余ハ以上ノ如キ重大問題ヲ、遺憾ナク最モ公明ニ語ツタリデアル、其  
故ハ、平和ニ対スル世思ノ思慕ガ何処ヲニアツテ、之レヲ自由ニ語ル聲  
ヲ欲シト思ツテイルトスレバ、余ガ之ヲ語ル要カアルト考ヘシカラテ

アル、恐ラリ余ハ凡ユル世思ノ人類ノ自由ニ言ヲ發シテ何物ニモ抑  
止サレナイ唯一ノ高权威者デアラウ、余ハ何人トモ云フガ、而シテ南米  
一大政府ノ責任アル主班トシテ云ツテイルコトモ勿論デアル、云カシテ  
余ハ、合衆國民ガ余ニ言ツテ實ヒタイト思フコトヲ云フタモ、デアルト  
信ジテイル。

結局、余ハ凡ユル國家ノ自由人達、タメニ、人道ノ友僚連、タメニ語  
リ、凡ユル自由ノ綱領ヲ語ツテイルノゴト希望シ信セントスルモノデア  
ルコトヲ附言シテ差支ヘアルヌラウカク、余ハ、余ガ至ルトコロ、沈黙  
セル多数人ノタメニ語リツ、アルコトヲ切ニ信セントスルモノデアル、  
彼等ハ、彼等ガ最モ親愛ナリトスル人マ家族ノ上ニ既ニ振り掛ツテイル  
死ト儼然ヲ目撃シテ、之ニ関シテ彼等ノ真ノ心中ヲ把握スル場所ト機会  
ヲ曾ツテ持タナカウタ人達デアル、  
合衆國ノ人民ト政府トカ世思ノ他ノ文明國民ニ参加シテ、余ノ指示ニ  
タルカ如キ條件デ、平和ノ永續ヲ期待スルト云フ期待ヲ主張スルニ當ツ

テヤ、余ハ、次ノ如キ自由アルガ故ニ、尚更大膽ニ、信念深ク、之レヲ  
云フモノテアル、即チ此ノ約束ノ中ニハ、我々ノ國民トシテノ傳統ヲモ  
政策ヲモ破壊スベキコトカナク、寧ロ我等カ宣言シ、勉勵スルモノ、凡  
テヲ履行スベキコトカ存スルノテアル、

### モンロー主義ヲ採用スベシ

余ハ、云ハバ、各國民ガ一致シテ、大統領モンロー氏ノ主義ヲ、世  
ノ主義トシテ採用センコトヲ提議シテイルノテアル、即チ他ノ國家乃至  
國民ノ上ニ己ノ政策ヲ及ボスコトニ非ズシテ、各國民ハ之ヲ放任シ、小  
國ハ強大有カナル國家ト共ニ、妨害ヲ受ケズ、脅威ヲ受ケズ、恐レル所  
ナク、自由ニ己レ自ラノ政策ヲ決定シ、己レ自ラノ發展方法ヲ講ゼム  
ハキテアルト云フモンロー主義ヲ採用スベシト提議シテイルモノテアル、  
余ハ、凡ユル國家ガ、彼等ヲカノ競争ニ引キ込ミ、彼等ヲ陰謀ト利己  
的ノ敵討トノ網ニカケ、外部ヨリ侵入シタ勢力ノタメニ、彼等ノ事務ヲ

攪乱スル同盟ノ纏レラ、爾迄回避スルコトヲ提議スルモノテアル、カノ  
提議ト云フコトニハ、纏レタ同盟ト云フモノガナイ、凡テノモノカ聯合  
シテ同一意義、同一目的ノ行爲ヲスルトキ、凡テノモノハ利害共同ヲ行  
爲ヲナシ、共同保護ノ下ニ自由ニ己レノ生活ヲシテ行ケルノテアル、

### 被治者ノ承認ニヨツテ立ツ政府

余ハ被治者ノ承認ニ依ツテ立ツ政府ヲ提議スルモノテアル、亞米利加  
代表カ何回モ何回モ國際會議ニ於テ、自由ヲ信服スル人達ノ雄辯ヲ以テ  
主張シタ彼ノ論、自由ヲ提議スル、陸海軍ヲシテ、軍ニ秩序ヲ被ルカト  
シ、侵襲ヲ利己的暴戾ノ道兵トナサハル様ノ軍備調節ヲ提議スルモノ  
テアル、

以上ハ即チ亞米利加ノ主義テアリ、世米利加ノ政策テアル、吾人ハ之  
ヲ指イテ、他ヲ主張シ得ナイ、而モ此キナルヤ、到ル知ノ先見アル男女、  
凡ユル近代國家、凡ユル文明社会ノ主義政策テモアル、此事ハ人類ノ主

義ヲアリ、通ネリ勢力ヲ得ルニ相違ナイ。

### 第二章 我等ノ主張スル主義

(一〇一七年三月五日ニ同日大統領就任ノ演説)

余ガ市民諸君——余ガ前因此ノ場所ニ立ツタ中ヨリ既ニ四年ヲ終ニシタ。其ノ四年間ニ、最モ重大ナル利害ト結果トヲ持ツ評議ト行カガ群ガリ起リタノデアツタ。恐ラク吾人ノ歴史ノ中デモ、吾人ノ経済生活、産業政策ニ斯クモ重要ナ改革ヲ望ム。吾人ノ政治政策ノ精神、目的ニ斯クモ着レキ変化ヲ充シタ時代ハ他ニ匹敵ヲ見ナイデアラウ。吾人ハ極メテ慎重ニ、国政ヲ整理シ、吾人ノ産業政策ノ大ナル誤謬ト浪費トヲ矯正シ、吾人ノ國民的才力ノ過程ヲ解放、促進シ、而シテ吾人ノ政見ヲ昂メテ、國民ノ根本的利害關係ナリトナス主義ノ觀念ニ向上セシメタノデア

ル。此ノ時代ハ特異ナ種類、特異ナ差別点ヲ持ツ記録デアル。トハ云ヘ余ハ之ヲ批判シヤウトハシナイデアラウ。事實ハ誠ニ雄辯デアル。ソレハ年ノ過キルニ依ツテ、次第ニ勢力ヲ増シテ行クデアラウ。今ハ回顧シテイル時テハナイ、寧ロ、現在ニ直ガノ未来トニ関スル吾人ノ所見ト目的ヲ語ルベキ時デアル。

### 世界主義時代近シ

吾人ハ四年前ニ世界ヲ代表シタル国内立法ノ大問題ヲ中心ニ異常ナル集中ト成就トヲ示テ、評議ト行動ヲナシ来ツタガ、此他ノ問題ハ、愈々強ヒテ吾人ノ注意ヲ吸引スルニ至リタノデアル。其問題トハ吾人ノ國民生活ノ外部ニアリタラ、吾人ガ此ノ問題ヨリ脱セント願フニ係ラズ、同類ノ本流ト勢力ノ中へ吾人ヲ引込ニ来ツテ枕ニ得ガル問題デアル。此ノ問題ヲ回避スルコトハ不可能デアツタ。ソレハ全世界ノ生活ニ影響シタ。ソレハ曾ツテ知らサル激情ト心痛トヲ以テ到ルル如ク人々ヲ振撼

シタ 我國民ノ思想ガ 此ノ向類ノ影響デ、彼方 此方ニ動搖スル間ハ、  
平靜ナ評議ヲ維持スルコトハ至難ナル、吾人ハ合成シタ世及人テアル、  
吾人ハ現ニ交戦シ居ル凡テノ國民ノ血統ヲ引イテ居ルノテアル、吾人ノ  
思想ノ潮流ハ吾人ノ貿易ノ潮流ト同シク、四時ヲ分タズ、彼我ノ間ヲ馳  
走スル、戦争ハ最初ヨリ不可避的ニ、吾人ノ思想、産業、商業、政治、  
社会運動ノ上ニ基シテ其ノ刻印ヲ打ツタノテアル、此ノ戦争ニ無関心ナ  
アルト云フコト、此戦争ヨリ距離スル事云フコトハ向類外ノコトデアリ  
タリ。

而モ爾ホ吾人ハ 終始、其ノ戦争ニ加ワテハイナイコトヲ自覺シテ居  
ワタノテアル、此ノ意識ヲ抱イテ、方面ハ多数ニ分レテイナガラモ、吾  
人ハ互ニ直ク引キ寄セラレタノデアリタリ、吾人ハ海上ニアリテ、吾人ハ不  
当十回ニアツタケレ共、此ノ返報トシテ相手ヲ、殺メタリ、傷メタリハ  
モナカク、或意味ノ獨立感ヲ、終始、保持シテ、戦争其物ノ直接問題  
ヲ超越シテ利益ニ専心シタノデアリタリ、吾人ノ蒙ツタ或種ノ危害ガ黙還

レ得ナルニ至リテモ尚且ツ吾人ニハ、吾人が今人類ニ何ツテ要求スル印  
意ノナトコトハ、己ノ為メニ何物ヲモ希求シナイト云フコトガ明瞭ニ分ツ  
テキタノデアリ、今人類ニ要求レ得ルモノ、ソレハ公平ナ所置デア  
リ、正義デアリ、組織ニ対抗シテ生活ヲ守在スルノ自由デアリ、  
此ノ精神ニ於テ、此ノ思想ヲ以テ、吾人ハ、平和ヲ主張シ、平和ヲ擁  
護シヤウトスル人連ノ依目ヲ吾人が演セント願フヤナルモノナルコトヲ  
益々自覺シ、益々確信スルニ至リタノデアリ、吾人ハ一突最、小限ノ权利  
ト行爲ノ自由トヲ要求シ、之ヲ貫徹センガタメニ、武装スルノ余儀ナキ  
ニ立至ツタノデアリ、此方法ヲ指イテ他ニ吾人主主張ヲ宣揚シ、吾人ハ  
抱負シ得サルモノノ何ヤルヤ示シ得サルカ如ク見ユルガ故ニ、吾人ハ  
断キトシテ武装ノ中立ニ立ツタノデアリ、吾人ハ己レノ目的ヲ乃至ハ欲  
望ニヨリテハナク、四圍ノ事情止ムヲ得ズ、更ニ能動的ニ思フガマ、ノ  
权利ヲ主張シ、大關爭其ノモノニ更ニ直接ノ交渉ヲ持ツニ至ルヤモ計ラ  
レナイ、トハ云ハ、何物トモモ吾人ノ思想、吾人ノ目的ヲ更改シ得ナイテ  
ニ一

アラウ、吾人ノ思想、目的ハ之レヲ隱蔽サレルニハ餘リニ明瞭ナルモ  
ノデアル、ソハ吾人ノ国民生活ノ根底ニ限リ根底ニシテイルガ故ニ之レヲ  
更改スルコトガ出来ヌ、ニアル、吾人ハ利便ヲモ欲シナクシテハ利益ヲモ  
欲シナイ、吾人ハ他国民ヲ犠牲ニシテノニ獲得サレルモノハ何物ト望モ  
之レヲ欲シナイ、吾人ハ常ニ非利己的目的ヲ聲明シ来ツタ、而シテ吾人  
ハ吾人ノ聲明ガ眞實ナルコトヲ証スベク機会ヲ切望スルモノデアル、

### 懐調ノ精神

国内ニ未ダ為スベク事ハ多イ、吾人ノ政策ヲ鮮明ニシテ、吾人ノ生活ノ  
産業過程ニ新生氣ヲ與フヘキコトガ要クアル、而シテ吾人ハ、時ト機会  
ノ役立ツマ、ニ立ヲ行フコトヲアラウ、ケレ共為サルベクニテ為サレヌ  
ニアル最大ノ事業ガ全世界ヲ舞台トシテ為サルベク、広大無辺ノ人類ノ  
力ヲ合シテ為サルベキデアルコトヲ知ルノデアル、テ吾人ハ斯カル事業  
ノタメニ吾人ノ精神ヲ用意シツ、アルノデアル、此事業ハ、改革其物ノ直

後ニ編起シテ、可ビ文明ヲ建設シムニテアラザ、吾人ハ最早地方的デ  
ハナイ、吾人ガ現ニ通過シ来ツタ二十ヶ月間、大騒動、此ハ悲シムベキ  
事件ハ吾人ヲシテ世界ノ民トシタノデアル、最早、方向ヲ転換スル事ハ  
出来ナイ、吾人ノ国家トシテノ運命ハ、ヨレンバ吾人ガ立ヲ懸レト希フ  
希ハナイニ依ハラズ、錯綜シテ来ラレイルノデアル、  
而モ尚ホ、吾人ハソレガ為メニ臣民利加人タルコトヲ少クスルモノデ  
ハナイ、吾人ハ吾人ヲ初、合ニ来ツタ主義ニ忠実デアリサヘスルナラバ、  
ソレ大ケ、臣民利加人タルコトヲ増スノデアル、其ノ原則ハ一地方一  
大陸ノ主義デハナイ、吾人ハ、之ヲ以テ、自由人類ノ主義デアルト認  
思識シ、自負シ来ツタノデアル、サレバ、次ニ掲ガルモノハ、戦時ト平  
時トヲ分タズ、吾人ノ主張スルコトナノデアル、

### 吾國ノ綱領

凡エル國家ハ世界ノ平和ト、自由人民ノ政治的安定トニ奔走ク熱心ナ  
ニ三

ルベキコト、併シテ、彼等ノ支持ニ倚シク有責ナルベキコト。  
 平和ノ根本主義ハ、凡ソク権利事項、乃至持統事項ニ付イテ、国家間  
 ニ现实的均等ナルベキコト。  
 平和ハ勢力ノ武装的均衡ノ上ニハ、安全正当ニ立テ得サルコト。  
 政府ハ、被治者ノ承認ニヨリテ、其正当ナ権力ヲ有スルコト。並ビニ  
 以上ノ権力ヲ除ク権力ハ何物トモ一國々内ノ共同思想、目的若クハ力  
 ニヨツテ支持サルベカラザルコト。  
 海ハ、共同ニ合意承認セラレテ、樹立サレタ規則ノ下ニ、自由ニ安全  
 ニ、凡ソル国民ノ用ニ供セラルベキコト。而シテ出来得ル限り、同一條  
 件ニヨツテ、悉クガ之レニ公入シ得ベキコト。  
 国家ノ軍備ハ、国家秩序ト国内安全ニ必要トセラル、限度ニ止メラル  
 ベキコト。  
 平和ガ爾今依ツテ立ツトコロノ利益権力ノ共有ハ、自國ノ人民ヨリ榮  
 生セル凡ソル勢力ニシテ他國家ノ革命ヲ促進シ、扶助スルモノヲ最ニ有

效ニ鎮圧、妨害スベキコトヲ注意スル義務ヲ、各國家ニ課スベキコト。

目的ト行動ノ聯合

國民諸君ヨ、余ハ以テノ主義ヲ諸君ニ論述スルニ及ハナイノデアル。  
 コハ諸君自身ノ主義デアリ、諸君ノ思想ノ一部デアリ、事々ニ諸君ヲ動  
 カス運動力デアアル。コハ吾人ノ間ニ生得的ニ發生スルノデアル。吾人ハ  
 之ヲ以テ目的、行為ノ綱領トナシ、相共ニ此ヒニ立テ得ルノデアル。  
 而シテ吾人カ相共ニ立ツト云フコトハ、止ムベカラサルトコロデアアル。  
 吾人ハ現ニ全世界ニ燃エテ中ノ只中ニ入レラレテ、新ラニキ聯合ニ  
 燒キ直サレントシテ中ノデアル。其烈々タル熱ノ中ニ、吾人ハ、神ノ  
 報理ニヨツテ、免救ト分立トラ躊躇シ、誤マレル免救納根性ト私利ノ根  
 性トヨリ純淨サレ、末ルベキ日ニハ、國家的自負ト精神ヲ新ラニイ成最  
 トシテ直立シ得ルニ意義カラウ。各個人ハ利目シテ、奉納ガ己レノ心  
 ノ中ニアリ、國家ノ高イ目的ガ己レノ意思ト欲望トノ支配者ナル自身  
 ノ頭ノ中ニアルコトヲ知ルベキデアル。

余ハ論ニ立ツテ、諸君ノ聴カル、通り、高尚最善ナル<sup>ニ六</sup>誓約ヲシタノデ  
アル、何トナレバ合衆國ノ人民ハ余ヲ選ンデ此ノ莊嚴ナル<sup>ニ七</sup>叔力ヲ賦英セ  
ラレ、併シテ其ノ優渥ナル<sup>ニ八</sup>御判断ニ依ツテ余ヲ國務ノ指導者ニ指度セラ  
レタカラテアル、余ハ其仕事ノ真意ノ如何ナルモノデアルカヲ知ツテイ  
ル、余ハ其ノ仕事カ含ム責任ヲ完全ニ自覺シテイル、余ハ、此ノ大國民  
ノ真意ニ立ツテ、余ノ本務ヲ行ヒ得ル<sup>ニ九</sup>敬智ト用心トヲ余ニ與ヘラレンコ  
トヲ神ニ祈ル、余ハ彼等ノ下僕デアル、併シテ、余ハ彼等ガ彼等ノ信念  
ト評議ニ依ツテ余ヲ支持ス尊カル、トヤニノニ成功ニ俾ルノデアル、余  
ノ依頼スルコト、コレナクエテハ評議モ行動モ何等カノナイ事、ソレハ  
臣米利加ノ困結デアル、——感情、目的ニ於テ聯合シタル臣米利加、義務  
ト協會ト奉仕トノ觀念ニ一致シタ臣米利加デアル、吾人ハ國家ノ仕事ト  
必要事項トヲ、私利ニ取回サセタリ、私力ノ建設ニシテ用ヒタリスル凡  
ユル人ヲ警戒スベキデアル、如何ナル私党モ不信ヲ陰謀モ詞和ヲ破壊ニ  
タリ我國民ノ人心ヲ困亂シタリセヌコトヲ警戒スベキデアル、吾人ハ我

政府ガ其本部ニ直ツテ肅正サレ清淨サレテ行クヤウニ警戒スベキデアル、  
吾人ノ本務ノ意義ニ於テモ、凡ユル人間ニ直面シテ之ヲ果スベキ決心ニ  
於テモ等シク固結一致シテ、今正ニ着手セヌハナラヌ大事業ニ、吾人ノ  
身ヲ捧ゲマウ、余ハ余トシテ、諸君ノ寛容ヲ乞ヒ、諸君ノ庇護ヲ乞ヒ  
而シテ諸君ノ一致シテ援助ヲ乞フモノデアル、吾人ノ進路ニ暗翳スル影  
ハ、疑テシヨ私ヘルムデアラウ、而シテ吾人カ己レニ眞實デアリカヘス  
レバト吾人ハ世思ノ評議ニ於テモ、向上サレタ自由ト正義ト叔利トヲ愛  
スル凡ユル人ノ思想ニ於テモ、吾人カ諒解シテ欲シイト類ヒテ未ツタ己自  
身ニ眞實デアリサヘスルナラハ——四四ニ光明ヲ携ヘテ進行シテ行クコ  
トデアラウ。



第三章

言へ、行へ、ソシテ共ニ仕へヨ。

(一九一七年四月十五日並英刊加國民ニ對スル教書)

國民諸君——吾人ノ愛スル國家ノ民主政ト人類ノ權利ノタメニ、世風ヲ振撼シテ奮起スルヘキ戰ニ參加シタト云フコトハ、即刻ノ考慮ト解決トヲ要スル多クノ國家生活、國家行動ニ關スル向題ヲ生セシメタノラアル。ソコデ之レニ關シテ余カ敢テ諸君ニ呈シテ熱心ニ御評議シ、御許ヘスルトコロヲ御聽取願ヒタヒノデアアル。

吾人ハ急遽トシテ吾人ノ海軍ヲ有效ナル戰備準備ニ置カントシ、大陸軍ヲ創設武裝セントシテキルケレドモ、コト吾人ノ準備ニ未ツタ大軍業ノ單ナル一部デアアル。余ノ見得ル限り、吾人ノ戰ヒツ、アル其名分ハ些ノ利己的要素ヲ無イノデアアル。吾人ハ吾人ガ人類ノ權利ナリト信シ、願フ所ノモノ、為メニ戰ヒ、世風ノ不末ノ平和安寧ノタメニ戰ワラ居ル

ノデアアル。此ノ大軍業ヲ皆尾ヨク價值アルヤウニ為サツカ為メニハ、吾人ハ純利ヤ物質的ナ利益ニ關セズ、事業其物ノ程度ニ志スルカト知識ヲ以テ獻身的ニ奉仕セネハナラナイノデアアル。吾人ハ其ノ仕事カ如何ニ大デアアルカ、如何ニ多クノ種類、多クノ要素ハ力ト奉仕ト自己犠牲トヲ含ンテ居ルカヲ充分ニ知ラネハナラナイ。

吾人ノ為サネハナラヌコト

サレバ次ニ述ベントスルところハ、戰ニ加ヘテ為サネハナラヌコト、完全ニ為サネハナラヌコトデアアル。——此事ヲ除イテ單ナル戰ハ實際ノナイモノニナルデアラウ。

吾人ハ己レノタメニ、我陸軍ノ為メニ、吾海軍ノ為ニ、豊富ナ食糧ヲ供給セネハナラヌノミナラス、又吾人ガ名分ヲ兵用ニシユレテ援ケ、之ニ味方シテ戰ヒツ、アル大部分ノ國家ノタメニ豊富ナ食糧ヲ供給セネハナラナイ。

吾人へ海ノ彼方テ日々必要セラル、何百ト云フ船舶ヲ吾人ノ船渠カラ  
供給シテ、潜水艇ノ危険ナルニ因セズ海ノ彼方へ運ベネナラナイ、吾  
陸海軍隊ヲ裝ヘンメ、武裝ナセル豐富ナ材料ヲ、吾畑ヤ、鉱山ヤ工場ヨ  
リ供給スル許リテナク、吾人民——其人運ノタメニ精銳ナル武人運モ  
既ニ早ヤ戦ヒ得ナクナツテ居ルノデアルガ、——ニモ之ヲ供給セネバナ  
ラナイ、吾人へ吾人ガ政權ニ於テ彼調スル軍隊ヲ軍裝サセル補助ヲナ  
シ、或ハ政權ニノ鐵工場、製造工場ニ原料ヲ切ラサヌヤウニ供給セネ  
バナラナイ、海ニ浮ブ船ヤ、海ノ彼方ノ敷知レヌ工場ノ熔鑪爐ニ欠ク地  
ヤサヌ石炭ヲ供給セネバナラナイ、彼取兩者ノ武器彈藥ヲ造ル鋼鉄ヲ供  
給セネバナラナイ、戦線後方ノ養線ニレールヲ供給シ、日々粉砕ニ行ク  
汽罐車、車輛ニ代ルベキモノヲ供給セネバナラヌ、労働用、軍用ノ騾馬  
馬、家畜ヲ供給セネバナラヌ、災備伊路ノ國民力、常ニ自給ニ未ツタガ  
今下ニテ作ル人手、原料若クハ機械ノ不足ノタメ並リ得サルニ至ツタ凡  
ユルモノヲ供給セネバナラヌ、

更ニ能率ヲ大ニセヨ

耕地、船渠、鉱山、工場ニ於ケル吾人ノ産業ハ、之ヲ以前ヨリモ更ニ多  
産ナラシメネバナラヌ、能率アラシメネバナラヌト云フコト、之レヲ更  
ニ從來ヨリモ経済的ニ管理シ、吾人ノ事業ノ特殊ノ必要ニ更ニヨク適必  
セシメネバナラヌト云フコトハ、凡エル思慮アル人ニ明カナ所アル、  
而シテ余ノ言ヘントスル所ハ、斯カル仕事ニ其ノ思慮トカトラ精一杯ニ  
スル男女ノ戦場中墮壞ニ居ル男運ニ劣ラズ莫面目ニ有效ニ、國家ニ奉ジ  
収テ戦ヲ平和ト正義トニ導カントスルデアラウト云フコトアル、男女  
ヲ向ヘテ國家ノ産業力ハ一大國家的、一大國際的奉仕軍テアル、——即  
テ國家的世間的奉仕ニ換ハル若名ニシテ充塞アル軍兵テアリ、列ル所ノ  
自由人ノ有テテ決テアリ、救済者テアル、之レナクンハ軍務ニ有責ナル  
幾千ト云フ人運、否々幾百ト云フ人運ハ、当然必然、其ノ軍務ヲ免セ  
ラレ、農場、工場、鉱山等ノ根本的ニ扶養労働ニ夫々指サレテ、砲火

ノ下ニアル人達ト同シク大愛國軍ノ一部トナルデアラウ。三ニ  
此処ニ余ハ目ヲ履ミズ次ノ言葉ヲ因ノ農耕者ト、農場ニ働ラク凡スル  
人達ニ送ルノデアル。即チ我國家最高ノ所業ト吾人ノ懐調スル國家最高  
ノ所業トハ供給物ノ豊富デアル。殊ニ食料出ノ豊富デアルト、適當ナル食  
品供給ノ重要ナハ、殊ニ今年ニ於テ最高デアル。軍隊ニ対シテモ、文職  
國民ニ対シテモ亦シク豊富ノ食物カナイナラバ余等ノ取り掛ウタ全大軍  
業ハ破壊シ去スルデアラウ、現在ノ危機ノ固ノミナラズ平和後暫時ハ  
我國民ト改竄巴國民ト、大部分トハ何レモ、亞米利加ノ收穫ニ抑ラネハ  
ナラナイ。

### 農人ノ責任

我ニ戦争ノ命令ト各國ノ命令が大イニ懸ツテ我農人ノヒニアル。國  
土ノ産物ヲ増業シ、其産物ノ販売分配ニ最も有效ニ役割ヲ演ラス凡ユル  
手段ヲ善カス様ニト國民ガ彼等ニ期待スルノハ尤モデハアルマイカ?

時ハ短カイ。大收穫ヲ確定ニスルタメニ出来得ルコトハ何デモヤル。  
直グニヤルト云フコトハ最も緊急ノ要事デアル。余ハ我國ノ若キモ老イ  
タルモ亦シク、成人シタ少年モ——皆農ノ如ク農場ニ向ツテ、骨折モ  
勞働モ此大事業ニ欲ケテ居ラヌコトヲ確定ニスルト云フ——此ノ義務  
ヲ承認シ、此義務ニ行動スルコトヲ彼等ニ要求スル。  
余ハ時ニ南部ノ農人ニ棉ニ劣ラヌ豊富ナ食料出ヲ提供クルコトヲ懇願  
スル。現在ノ綿價ヲ誘惑セラル、ヲ有ケテ、彼等ト我等ノ自由ノタメニ  
戦ヒツ、アル國家民人ヲ大ニ輔佐スルコトヲ措イテ他ニ更ニ優ツタ、  
更ニ並理アル方法デ、其愛國心ヲ示シ得ナイ。彼等ノ數額ノ多種多様ナ  
ルハ、彼等ノ國家義務ヲ理解スル程度ヲ示ス明カナ尺度ヲアルケラウ。  
各級國ノ政府ト教團ノ州政府トハ今將ニ改調セントシテ居ル。彼等ハ  
凡スル可能ナ手段ニヨリ農人ヲ輔ケテ種子ノ適當ナ供給ヲ保証シ、收穫  
時ニ於テ、最も必要トロラル、適當ナ勞働者ノ団体ヲ供給スルコトヲ保  
証シ、肥料ヤ農具ノ迅速ナ輸積手段ハ、收穫カレタ穀類其物ニ対スルト

同様ニシテ保証セントシテモル。交易通達ハ、之ヲ道ル<sup>三四</sup>コトノ可能ナルト同ジリ妨害サレムコトハナイノデアラウ。而モ國家ノ食料供給ニ関シテラ扱フ人々カ爾者ニ送ル途<sup>中</sup>ノ操作ハ保証セラレサルハナイノデア<sup>ル</sup>。コハ大民主政ノ融年ヲ宣揚スル好機デアリ、吾人ハ之レニ事<sup>飲</sup>クヤウノコトハナイデアラウ。

### 仲立人ノ義務

彼等ガ食料品ヲ扱ヘルト、製造用ノ原料品乃至ハ製粉場、工場ノ生産品ヲ扱ヘルト云フ。一國ノ暇ハ殊ニ諸君ニ暇カレテ居ル。コハ諸君ガ有效無私ナ大奉仕ヲナスヘキ機会デア<sup>ル</sup>。吾國ハ他ノ凡テノモノニ対スルト同ジク諸君ニ対シテ諸君ガ異常ナ利益ヲ抛棄シテ、諸君ガ為シツ、奉仕ヲ眼目トナシ、國民ノ為メニ己ノ為メニスル心ヲ以テ兵役ニ服スル者ノ心ヲ心トシテ各種ノ供給物船積<sup>積</sup>積ニ食物ノ船積ヲ便ナラシメンコトヲ期待スル。余ハ心カラ、諸君ガ各種ノ地位ニアル人々ノ信任ヲ值

シ、之ヲ勝テ得ラル、幸ヲ諸君ニ期待スル。

### 鉄道ニ従事スル諸君

吾國ノ鉄道ヲ走ラレラルル人々ハ、其支配人ナルト被用従事員ナルトヲ向ヘズ、之ニ対シテ次ノ事ヲ云ハントスル。即チ鉄道ハ國民生活ノ動脈デアリ、斯カル動脈カ如何ナル種類ノ障害ヲモ、無カラモ、力ノ免<sup>後</sup>チモ受ケナイ様ニ注意スルト云フ莫大ナ責任ハ懸ツテ彼等ノヒニ存スルノデア<sup>ル</sup>。商人ニハ「請利迅速」ノ標語ヲ暗示シヤウ。ソシテ造船者ニハ戦<sup>争</sup>ノ死<sup>命</sup>ハ彼ニ掛ツテキルト云フ考ヘテ暗示シヤウ。食物ト軍需品ハ、如何ニ多クノ輸ヲ或メヤウトモ之ヲ顧ミズ、海ヲ渡ツテ運バ<sup>レ</sup>木<sup>ハ</sup>ナラナイ。飲食シタ場合ハ供給サレホバナラナイ。直チニ供給サ<sup>レ</sup>木<sup>ハ</sup>ナラナイ。坑夫ニ対シテハ、彼ガ農人ト同ジ立場ニ立ツテ居ルノ如ク云ハ<sup>ウ</sup>。世<sup>界</sup>ノ仕事ハ彼ヲ待ツテ居ルノダ。彼ニシテ息リ、或ハ失敗マンカ、軍隊ト政治家ハ頼ル嶋モナイノデア<sup>ル</sup>。彼ハ又大奉仕軍ニ加<sup>ッ</sup>テ居

製造家へ蓋シ。彼カ各操業ヲ促進シ完成センコトヲ國家カラ期待サレ  
テ斗ルコトヲ聞クマデモアルマイ、デ余ハ只彼等ノ傭人ニ對シテ其仕事  
ノ絶対不可缺ノモノデアリ、國ヲ愛シ、國ノ自由ヲ愛スル各人ニヨツテ  
重視サレテ牛ルモノナルコトヲ和ラシメタイ。

余ハ又、花園ヲ造リシレヲ栽培スル者ハ皆、國家扶養ノ問題解決ニ共  
リ、此ツテ大イニ力アルモノナルコトヲ示シタイ、ソレテ緊縮經濟ヲ行  
フ家婦ガ國ニ奉ズル人々ノ中ニ入ルモノデアルコトヲモ示シタイ、今ヤ  
臣米利加ニ取ツテ宥シ難キ浪費ト贅沃ノ欠矣ヲ匡正スベキ狀デアル、各  
個ガ男女ヲシテ用意周到ナ使用ト經費ノ義務ヲ以テ公務ナリトナサセヤ  
ウ、此ヲ無視シテ未解ノ途ナク、寛恕ノ道ナキヲ思ハシムル憂國心ノ教  
格トシテ此ノ義務ヲ負ヘセヤウ。

### 最高ノ試練

此ノ至大ナ危機ニ於ケル國家世界ノ必要事ヲ説キ来ツタ此ノ説述カ之  
ヲ見ル人ノ凡テヲ刺戟シ、世思ニ曾テ見サル時代ニ於ケル嚴肅ナ義務ヲ  
意識スル必要アル人々ヲ覺醒セシムルコトヲ余ハ望ムモノデアル、到ル  
所ノ編輯者ヤ發行人が出来ル大ケ此訴ヘテ著大ニ發行シ広汎ニ刊行セン  
コトヲ余ハ希フモノデアル、余ハ又凡ユル廣告代理店ニ對シテ彼等ニシ  
テ若シ之ガ廣汎ナ反復ヲシテ呉レルナラバ、彼等ハ國家ニ對シテ極メラ実  
質的ニシテ時ニ適ツタ奉仕ヲシテキルモノデアラウコトヲ敢テ示サウト  
スルモノデアアル、併シテ余ハ僧侶達ガ此題目ヲ無價値不適當ナル説教題  
目ト考フルコトナク敬壇ヨリ之ヲ説カンコトヲ望ム。

國家ノ最高試練ハ来タ、吾人ハ凡テヲ諦リ行ヒ互ニ仕ヘネバナラナイ。

第四章 婦人参政權今や早カラズ

(一九一七年十月二十五日)

大統領ハ紐育州婦人参政団ヨリノ政遺員ヲ白頭館ニ迎ヘ、因長ノ一マン  
テ・アール・ホワイトハウズ夫人ノ陳述ニ答ヘテ次ノ如ク答ヘタリ。  
ホワイトハウズ夫人及ビ婦人諸君——余ハ大イニ悦ンデ諸君ヲ迎ヘ  
ル。余ハカクスルコトヲ以テ一ノ特權ナリト思惟スル。ホワイトハウズ  
夫人ノ説カル、所ニヨリテ明カナルガ如ク、諸君ガ紐育州ニ於テ働キツ  
ツアラレル御困難ナ仕事ヲ余ハ了知致シテ居ル。ガ併シ余ノ考ヲ以テス  
レバ、カ、ル難事ヲ以テ党政ノ支領直リ選挙人ガ諸君ノ肉薄セラル、同  
題ヲ無視シテ居ルカラガト云フ口實ニ用ヒラレテハナラナイ。何トナレ  
バ結局、全世界ハ政府ト云フモノニ対スルニ思想同ノ論論ニ当面シテ居  
ルカラデアル。ソレハ以前起ツタ凡ユル論議ヨリモ更ニ深刻ニシテ、更

ニ人固ノ団体生活ノ根本ニ能レル論争デアル。併シテ表面ニ存在スル同  
題ヲ如何ニ解決シテ見テモ其解決ガ下方ニ存在シ、根底ニ横ハル問題ヲ  
モ正当ニ解決スルノ要アル事懸ヲ充反ニ得ナイノデアル。婦人参政問題  
ガ、根底ニ横ハル問題ノ一ツデアルト考ヘルト吉明ニテ余ハ何事願ミル  
所ガナイ。

世界ハ徐々ニ政治的改革ヲ覺テ来タノデアル。而シテ人固ハ一級ニ此  
ノ遅々タル過程ニ満足セズバナラナカッタ。或ル意味ニ於テ、遅イト云  
フコトハ健全ナノデアル。何トナレバ、茲ニ於テカ、事ハ充實適確ニナ  
ルカラデアル。サレド現時ノ戦争ガ、政治問題ニ関シテ、改造ノ速度ノ  
大イニ増加セラルベシヲウ人類ノ信念及意識ヲ促進シツ、アルコトヲ余  
ハ信ズルモノデアル。併シテ吾人ハ現時ノ戦争ニ関スル問題ニヨツテ正  
ニ此ノ信念ヲ速直セラレタルカ故ニ、此婦人参政権問題ニ直テニ考慮ヲ  
拂フ様、速直セシメラルベキデモアル。

今や実行ノ時代ナリ。

大政黨ノ領袖ノ一人トシテ、ヨシンバ余カ諸君ノ代表サル、婦人參政  
権問題ニ心カラノ支拂ヲ與ヘタトシテモ、余ニハ該政黨ノ訓令ニ従フコ  
ト以外ニハ何事モ出来ナイ。ケレドモ余ハ唯單ニ一党ノ領袖トシテノミ  
テ、餘ルコトヲ欲シナイ。余ハ個人トシテ言ハ、併シテ余ノ考ヲ以テスレバ  
本聯邦ノ各州ガ此ノ行爲ヲ爲スベキ時代デアルト云ハント欲スルモノデ  
アル。余ハ我國策ノ伝統ノ國策ニ精カブレヌギタルカモ知レヌ。殆ンド  
全ク斯カル向題ヲ各州ニ委任スルト云フ傳統ニ精カブレヌギタルカモ知レ  
ナイ。ケレドモ此時ニ於テ刺戟サレタ己レノ意見ヲ各社会カ發表シ、其  
ノ利戦ノ結果ヲ表明センコトヲ願フモノデアアル。

蓋シ國家ハ拳ケテ、女子ガ此ノ偉大ナル機會ニ際シテ立ツタトコロノ  
其方途ヲ感得シタモノト思フ。彼等婦人連ハ、要求セラレタルトコロヲ  
行ヒ熱誠ト能率トヲ以テ行ツタノミナラズ、彼等ノ創案ニヨル極メテ奇  
異困難ナル事象ヲ遂行スルタメニ團結スルト云フカヲ示シタノデアアル。  
而シテ思フニ國家全体ハ合衆國女子ノ精神ト能カト見識トヲ賞讃シタデ  
アラウ。

我國家ガ其生活ノ大部分ノ靈感ヲ女ニ負フヲキルノダト云フノハ殆ン  
ド不合理ニ近イノデアアル。ソレハ明瞭ニシテ政ヲ要シナイ。ケレドモ  
私創性ノ明瞭ガヲ以テ豊カニ行ハレタ奉仕ノ承継ニ付テ國家ガ今や女子  
ニ負フ所モアルノデアアル。故ニ、余ハ大紐育州ノ民人ニ對シテ婦人參政  
権ニ讚成シテ以テ大ナル前例ヲ拓ケト要求スル声ニ善ンテ和ソウトスル  
モノデアアル。余ニモテ若シ紐育州民人ノ眼前ニ於テ、其忠言ヲ致スコト  
ガ出来タナラバ、實ニ快決デアツタデアラウ。余ガ余ノ現在ノ職務ニ密  
接ニ拘束セラレテ、此事ヲ果シ得サル限り、余ハ余ノ特權トシテ石ノ教  
育ヲ彼等ニ伝ヘラレンコトヲ喜ンデ諸君ニ要請スルモノデアアル。  
今や時代ハ特權ノ時代ト思ハレル。凡ソル我等ノ主義、心意、目的ハ  
吾人ノ義務ニヨツテ探求セラレテ居ルノミナラズ、世間ニヨツテ求メラ

レテ居ル。係シテ、吾國各州ノ民人ガ、如何ナル實際<sup>四二</sup>ノ意味ニ於イテ  
民本主義ノ戒訓ヲ知ツタカフ世思ニ示スベキ時代ニナツタ。——即チ信  
ズルガ故ニ民本主義ノタメニ戦ヒ、信セザル民本主義ノ施為ニ至ツテハ  
皆無デアルト云フ戒訓ヲ世思ニ示スベキ時代アル。

故ニ余ハ諸君カ代表ニ、諸君ガ熱烈ナ希望ヲ表明シテ、選挙当日紐育  
民人ノ眼前ニ横ハル大ナル事件ヲ彼等ガ了解シ、崇高ナ形式デ之レニ答  
フルトコロアラシコトヲ願ハル、其ノ大義ノ前ニ、余ハ余ノ所念ヲ憐ケ  
テ以テ、確固不拔ノ時代ノ時代ノ基礎ニ立脚シテキルモノナリト感スル  
次第デアル。

### 第五章 労働者モ其役ヲ負フベシ。

(一九一七年十一月十二日)

紐育州ハワフアローノ会議ニ集マレル臣米利加労働總會ノ演説ニ於テ

大統領ハ次ノ如ク云ヘリ。

會長、臣米利加労働總會ノ代表者、淑女、紳士諸君——余ハ斯ノ如  
ク諸君ノ總會ニ出席ヲ許サレタルコトヲ以テ大ナル特權、莫ノ名譽ナリ  
ト思フ。諸君ノ執行委員會ヨリ茲ニ余ヲ招カル、ノ御挨拶ニ接スルヤ余  
ハ概然此招請承諾セリ。何トナレバ、現時ハ、諸君ノ有スル米中ノ他  
ノ如何ナル時代ヨリモ共同会議ヲ要スル時代デアリ。精力ノ抽出ヲ要ス  
ル時代ナルノミナラス、國民ノ精神ヲ共ニ抽出スル必要アル時代ナリ。  
思フニ今ハ最近重大ナル数ヶ月間ニ余ノ心ニ集マリ、米レル政思想ヲ諸君  
ニ開陳スル忽怪ノ好機デアリ。

余ハ合衆國ノ大統領トシテ諸君ニ紹介セラレタガ、而モ余ハ諸君ニシ  
テ、若シ官職ノ念慮ヲ後ヘニシテ、茲ニ有権的言辭ニ非サル献策ノ言辭  
ヲ諸君ニ求レル諸君ノ友民ノ一人ト見做サレ、ナラハ余ノ愉快ニ感ズル  
所デアル。其言辭ハ世史ノ正史ニ曾テ見サル危急ノ秋ニ當ツテ公明ナラ  
ントズル人々ガ、カクミニ諸君官職テアリ、自身ヲ忘レ、自身ノ利益ヲ



忘レ、偉大ナル国民的、世思的觀念ノ崇高ナルニ於テ添レテ、尋常茶飯事ノヒニ向ヒテ、人類永劫ノ運命ヲ達見スルマデニ向ヒサレタ新ヲシキ綱領ニ立ツテ行動スルコトヲ各人ノ義務ナリトナス存亡ノ秋ニカタミニ詰リ合フ旨辞下アル。

此ノ評議ノ時ノ何タルヤ正シク知ランガタメニハ、蓋シ此ノ戦争ノ依テ起レルトコロヲ、以テ目的トナストコロトヲ正シク記憶セホバナラナイ。戦争ト云フモノニ對シテハ諸君ハ多ク之レヲ簡單ニ說明シ得ルケレドモ現時ノ戦争ノ説明ハシカク簡單デハアリ得ナイ、其ノ根底ハ深ク見エル歴史ノ茫漠タル土壤ニ入ツテキル、而シテ余ノ見解ヲ以テスレバ、コレこそ旧来ノ权力主義ト、新法ノ自由主義トノ間ノ最後ノ決定的問題デアル。

### 独逸ハ戦争ニ有責ナリ

戦ハ独逸ノ惹起セルトコロ、独逸國ノ当局者ハ、其之レヲ惹起セルコ

トヲ否定スルト雖モ余ハ余ノ今迄ベタ言葉ヲ以テ正史ノ断定ヲ待タシメント欲スルモノデアル、説明ヲ要スルコトハ、何故ニ独逸が戦争ヲ起メタカデアル、世思ニ於ケル独逸ノ地位ガ何デアルカヲ想ヘ——ソレハ即チ凡ソ國民ノ皆テ有セザリニ在リ義理スベキ地位デアル、全世界ハ其驚クベキ知識的物質的成就ヲ賞讃シ、凡ソル世思ノ知識人ハ之レニ學バントシテ行イタ、余ハ大學生トシテ、独逸ヲ訓練ヲ受ケタ人々ニ圍マレ、独逸ニ行ツタコトノアル人々ニ圍マレ居タ、何トナレバ独逸ヲ指イテ他ニ、爾カク徹底的ニシテ、研究的ナ訓練ヲ受ケルコトガ出来カカッタカラデアル、殊ニ科學ノ原理ニシテ近世物質文明ヲ産流スル原理ニ於テ然リデアツタ、

独逸ノ科學者輩ハ、恐ラク其ノ産業ヲ以テ世界中ヲ最モ有力ナ産業ヲラシメタデアラウ、ソレヲ「独逸製」ノ點札ハ優秀ナ技術ト完全ナ原料トノ保証ニナツタノデアル、独逸ハ世思ノ凡ソル市場ニ販路ヲ有シ、其市場ニ交易シタ諸外國ノ人々ハ、其ノ有責不可抑ノ競争ノ故ニ独逸ヲ恐

レタノデアツタ、独逸ハ太陽ニ其ノ地位ヲ占メタ、何故ニ独逸ハ満足シナ  
カウツタカ、此レ以上ニ独逸ハ何ヲ望ムカカ、和平ノ世ニ於テ、独逸  
ガ持ツヌモノハ何モナカウツタ、エカモ豊カニ之ヲ持ツタノデアアル、  
吾人ハ更米利加ノ進歩ノ異常ノ速歩ヲ誇ル、吾人ハ誇ラカニ我産業増  
進ノ統計ヲ示シ、我都市ノ人口増加ノ統計ヲ示ス、タカ以上ノ如キ統計  
モ独逸最近ノ統計ニ匹敵シナカウツタ、其ノ旧都市ハ昔々ヲ扮装シ、更米  
利加ノドノ都市ヨリモ早ク増大シタノデアアル、其ノ旧産業ノ眼ヲ開イテ、  
新世界ヲ見、保シテ其ノ征服ノ為メニ出掛ケタガ、未ダ独逸ノ富強ハ満  
足シナカウツタ、  
諸君ハ、何故ニ独逸ガ其ノ競争方法ヲ満足セスカト云フ疑問ニ因スル  
一部ノ解答ヲ授ケテキルノデアアル、独逸中ノ重要産業ニシテ政府ガ此種  
事ニ着手シナイモノハナク、必要ガ至ズニバ之レガ管理ニモ着手シタモ  
ノデアアル、

独逸政府ノ庇護支後ノ下ニ、独ノ製造者、輸出商臣ガ用ヒタ競争方法

ヲ知ラントセバ、諸君ハ、國際競争問題ニ因シ、數前編ツテキタ状態ニ  
明ルイ人達ナラザレニデモ諸君ノ會ツタ人ニ聞ケベヨイ、諸君ハ、其競  
争方法ガ、我國內ニテ法律ニヨリ禁止ヲ決定サレタ其種ノ競争方法デアルコ  
トヲ知ルデアラウ、彼等ハ、自己ノ利益ヲ見テ、我等ガ売ルヨリモ安價  
ニ原料ヲ賣リ得ナイハニハ、之ヲ稍々安價ニ賣リ得サセル様ナ補助金ヲ  
政府カラ賣フコトヲ出采タノデアウタ、保シテ競争状態へ、斯ノ如クニ  
テ大規模ニ独逸政府自身ノ手ヲ支配サレタノデアウタ、  
ケレドモ、エデモ独逸政府ガ満足シナカウツタノデアウタ、其思念ノ背  
後、將來ノ幻想ノ中ニハ、結局世界ノ片側ト産業トヲ主宰シ得ル政治的  
支配ガ、絶エズ續ハウヲ居タノデアウタ、

権力ニ依ル成功

彼等ハ卓越セル事業ニヨリテ得タ成功ニハ満足セズシテ権力ニ依ツテ  
得ル成功ヲ欲シタノデアアル、諸君ノ内ニテモ、深ク柏林ハカウツト鐵道ニ考

慮ヲ拂ウタ人ハ極ムテ少ナイデアラウト思フ。柏林<sup>四八</sup>バガット鉄道ハ、  
力ノ存滅ヲ六ヶ國ノ産業的施設ノ側面ニ走ラシムルタメニ建設セラレタ。  
故ニ鐵道ノ競争カ直入ウテ来ルト、永クハ棉花が親ケラレナイノデア  
ル  
—— 丹トナレバ他ノナレバ他ノ軍隊カ来ルヨイモ早ク、独乙軍隊カ其國  
ノ中心ニ至リ得ル可ぬ性カ常ニアウツカカラテアル。

先ゾ歐羅巴ノ地圖ヲ見ヨ。独乙ハ、再三再四平和ノ論議ヲ我輩ニ奨勵  
シテ居ナガラ、何ヲ云ツテ居ルカ。彼ハ自耳義ヲ語リ、北部佛蘭西ヲ  
語リ、アルサス、ローレンヲ語ツテ居ル。独乙ハ歐羅巴が始マツトキ、  
彼カ夢ニ見タトコロヲ把持シテ居リ、若シモ彼レニ之レヲ把持スルコト  
ガ出来ルナラバ、其勢力ハ、彼ノユヲ把持スル限リ、世界ヲ攪乱シ得ル  
ノデアル。常ニ—— 自分ハ此ノ一項ヲ挿入セバナラヌト感スルガ故  
ニ云フガ—— 常ニ独逸政府ヲ支配スル現時ノ勢力ヲシテコレカ支配ヲ  
継続コシムルナラバ、然リテアル。  
自由ノ精神ガ独乙人ノ心中ニモ定入り、而シテ他國人ノ心ニ見タト同

ジイ立派ナ教典ヲ受ケルデアラウトコトヲ余ハ信ズル。ケレ共自由ノ精神  
ハ汎独乙計畫ニハ適志ニナイノデアル。勢カト云フモノハ、ヨレンバソ  
ルガ自由民ノ手ニヨウテ用ヒラレテ見ラモ、自由民族ニ対抗スル集中心カ  
トナツテ用ヒルコトハ出来ナイノデアル。中心列強ノ或強ノ或弱カラ、  
主ナル中心の強國ヨリモ、彼ノ國ノ方が、更ニ更ニ平和ヲ思案シテ居ル  
ト云フ報告カトノ位決山来タカハ諸君ノ存知セラル、所テアル。併シテ  
其ノ直意ハ即チ其ノ主ナル中心の強國ノ人民カ戦ニシテ若シ現在ノ依  
終ルトスレバ、彼等ノ人民ヲ、其地方ノ凡スル民族ト聯合サセテ見ラモ  
且又民族的自持ト、其ノ本来的精神トニ於テ、カクノ如ク糾合主宰サル  
、コトヲ欲セザル事實ガアツテ見テモ、結局独乙ノ奴僕トナリ了ルコト  
ヲ知ツテ居ルニ外ナラヌコトモ諸君ノ存知サル、所テアル。

### 世界ノ政治的執力カ

独乙ハ世界ノ政治的執力カ己ノ手中ニ入ルモノト覺悟シテ居ル。斯ル

野心ハ以前モアツタ、ケレ共又前ニハ、カ、ル野心モ、サシタル正確  
ナ、精細夫、科學的ノ支設計置ニ立脚スル居ル様ニ、或ル民族ノタメニ企テラレタ改

革ト云フモノガ、他乙ノ出現ヲ俟ソテ、陰謀乃至強カニヨリ、彼等ヲ滅  
救ス、覆滅スルニ足ル丈ケノ強カサテ存在ニ得ルモノナリト考フル様ナ  
ソレナ近世ナ人達ノ集團ガアツタヲ、呆レ返ツタ次第テアルトイワテモ  
同直ニデハナカウ。

現在ノ独乙政府ト結托スル自由人ノ団体ハ已レ自ツノ破壊ノタメニ結  
託ニテ居ルモノテアル、ケガレテ話ハ忍テ居ルノデハナイ、更不利  
加ニ居ルト他ニ居ルトヲ向ヘズ、世思ノ自由產業ト自由事業トガ取極進  
計置ノ達成セラレ、独乙ノ勢力ノ世思ニ確保サル、曉ニ於テ初メテ起  
シ得ルモノナリト考ヘル人固ニ、露西亞ノ夢想者ト同ジク蒙昧アツタ  
余ノ反対スル所ハ、和平論者ノ心持テナクテ、彼等ノ近思ヲノテアル、  
余ノ心ハ彼ト共ニ在ル、ケレトモ余ノ願ニハ彼等ニ対スル非難ガアル。

余ハ平和ヲ欲スル、ケレトモ余カ如何ニシテセテ得ヘキカタ和ルニ反シ  
テ、彼等ハ之レヲ知ラナイノテアル、

余ガ世裏ノ何人ニモ劣ラス平和ノ大ナル愛好者ハウ又大佐ヲ歐洲ニ歐  
運シタコトハ諸君ノ目撃セラル、通リテアル、ケレトモ余ハ和平ノ使余  
ヲ帯ハシメテ彼ヲ派遣シタノデハナイ、余ハ如何ニシテ戰争ニ勝ツベキ  
カノ彼等ニ参加セシメンガ為メニ彼ヲ派遣シタノテアル、併シテ稍々退  
引シテモ諸君ガ平和ヲ得タイト欲セラル、ナラバ之レヨリ平和ヲ得ル方  
法テアルコトヲ余ハ承知シテ居ルノ、其莫ニ於テ彼モ同ジテアル、

若シ吾人ニシテ莫ニ——自己若クハ他ノタメノ——自由トイフモ  
ノ、知シテアルトナラバ、此國家ノカト、此ノ國家ノ生産力トケ共ノ絶  
對的最大限度ニ高メラレ、何人ト呈モ絶對的ニ之ガ妨害トスルコトヲ許  
サレナイコトヲ知ルデアラウ、  
何人ト呈モ之レガ妨害トナリ得ルコトヲ許サルベキテナイト云フト莫  
モ、彼ガ之レニ政府ノ力ニヨリテ葉返サレテキルト云フノ意テハナク、  
五一

並米利加魂ノカニ故テ禁過サレテキルト云フノテアル。若シ吾人ニシテ  
此ノ偉大ナル事業ヲ行ヒ、並米利加ヲシテ我輩ノ信ズルトコロノモノヲ  
ラシメンカ、吾人ノ任務ハ世襲ノ大ナル希望デアリ、世襲ノ大ナル希望  
デアル。

### 労働ハ自由ナルベシ

吾人が自由ノタメニ戦ヒツ、アル間ニ、吾人ハ労働ノ自由ナルコトヲ  
他ノ事象ノ中ニ目睹スルノデアル。併シテ此事タル数々ノ興味アル事象  
ヲ意味シテ居ルノデアル。ソレハ吾人ノ声明シテ為サントシタトコロヲ  
為サネバナラヌト云フコトヲ意味スル所ナリテナク——見ヨ労働状態ガ  
我輩ニヨツテ、更ニ退望ニサレナカツタコトヲ——労働状態ヲ改善ス  
ベキ手段ガ閉塞モ差障モサレナイ操戒心スルコトヲモ意味シテ居ル。吾  
人ハ之ヲ行ハネバナラナイ、コレコソ余ケ諸君ノ会長ゴムバース氏ト絶  
エズ倫理ニ改議シテ居ワタトコロデアル。併シテ若シ差支ヘナクンバ、

余ハ彼ノ愛國の勇氣ヤ、本心ヲ識見ヤ、政治家の意誠ヤ、羊飼ヲ殺イ録  
ル手段ヲ知レル後ノ頭ヤニ對スル余ノ愛護ヲ表明シタイト思フノデアル。  
常規ヲ違スル馬ハ檻ニ入レネバナラナイノデアル。

サテ「共ニ立ツレト云フ言葉ノ真意ハ、ヨシンバ其ノ妨害ガ絶対ニ其  
自由ヲ侵害スルコトナクモテ避ケ得ラル、ニシテモ、何人トモモ我輩ノ  
カノ退程ヲ妨礙シテハナラヌト云フコトヲ意味スルノデアル。具體的ニ  
之ヲ言ハバ其ノ真意ハ、如何ナルデアアル。  
何人トモモ我輩ト解決ノ方法ガ凡テ悉ク果テタ上テナケレバ労働退程  
ヲ停止スヘキ権利ヲ持タナイ、併シテ余ハ正ニク余我輩ノミテ諸君ニ物  
語ツテ居ルノテナイ、コトヲ言明シテ誤ハナイト思フ。諸君ハ時ニ労働退  
程ヲ停止スル、ケレトモ之ト同意コトヲスルモノカ他ニモアル。諸君  
ガエツクノ場合資本家ヨリモ理性ニ富ミテ居ルト云フトキ、余ハ己自身ノ  
経験カラ之ヲ云ツテ居ルノデアル。  
余ハ資本家ニ對シテ個人的ニカウシタコトヲ語シテ居ルノテハナイ。

何トナレバ余ハ未ダソウレタ機会ヲ持タナカッタカラデアル。ダダ彼等  
ニハ何時カ斯ウレタコトヲ批評ノ心持ヲ持タズニ話シテヤラホナラナ  
イ。

ケレドモ斯ウレタ望氣ヲ離レテ事業ニ到ランガタメニハ兩側ニアル凡  
テノ人カ事業ヲ行ハホナラナイノテアル。而シテ其ノ解決ハ兩側ノ人  
重カ規丁面ナ正當ナ仕事ヲシタイト思フトキ不可解デハナシナルノデア  
ル。更ニ當事者カ面ト向ツテ相對スル様ニナルトキ辯攻ヲ回避スルコト  
ハ難カシイ。相手カ部屋ニ居ルトキヨリモ、相手カ部屋ニ居ナイ時ノ方  
ガ余ハ更ニ之ト本質的ニ之ト見解ニスルモノデアル。何トナレバ相手カ  
部屋ニ居ルトキニハ、厄介ナコトニハ相手カ余ノ所ハヤツテ来テ、余ノ  
高ツタトコロニ答ヘルクラデアル。各自カ单独ニ事ヲ決スルト云フコト  
ハ、危険ナコトデアル。併シテ此故ニ吾人ハ當事者カ互ノ面前ニ来テ、其  
処デ當事者間ノ未決向題ヲ論議シ、互ニ疏通セヌ場所ヲ別々ニ論議スル  
コトノナイ様ニセヨト云フコトヲ各個ノ場合ニ主張セヌバナラナイノデ  
アル。

余ハ過ギレ時代ノ英國人チヤールスラムノ愉快ナ言葉ヲ思ヒタイ。  
彼ハ一面ノ友人ト共ニ居ツテ、其処ニ列席シテ居ナカッタ或人ノコトヲ  
コキオロシタ、余ハラムカ精々口籠ツテ話ヲシタコトヲ話シテ置カホバ  
ナラナイ。ソコデ彼ノ友邊ノ一人ガ云フニハ、「何ダ、チヤールスラム君ガ某  
ヲ知ツテルコトヲ僕ハ知ラナカッタヨ」チヤールスラム云ツタ、「不、僕ハ  
ソノ男ヲ知ランヨ。僕ハ自分ノ知ツテ居ル人ヲ憎ム譯ニハイワナイ」  
其言葉ノ中ニハ多量ナ人同性ガアリ、極メテ愉快ナ人同性ガアル。諸  
君ガ自分ノ知ツテ居ル人ヲ憎ムコトハ難事デアアル。話ハ別ダガ、余ノ信  
任ヲ抱カナイ手紙ヲ持ツタ政治家達ガアル。ケレドモ彼等ハ愉快ナ善良  
ナ人内デアアル。ソシテ若シ彼等ガ誤マレル政治思想ヲ余ト共ニ誤スルコ  
トガナイナラバ、余ハ彼等ト共ニ在ルコトヲ喜ブデアラウ。ソコデ重大  
事件デアルトナイト向ハズ、怒ク、ソレハ同へ線ト云ウテ居ル。吾  
人ハ幾ク同へナ肉體ト同へナ精神ヲ持ツタ人間デアアル。デアアルカラ吾人

ニシテ若レ一編ニナラウスルナラバ一折ニナルコトガ出来ルノテアル、  
又六

### 聖米利加ハ後調セザルベカラズ

此故ニ余ガ諸君ニ致サントスル献策ハ次ノ如クテアル、申テ吾人ハ独  
リ去ツテ分レ分レノ陣營ヲ団体ニ行クコトヲ欲スルモノニ非ザルコトヲ  
示シ以テ我々聖米利加人ヲ知ラシメ、然レテ凡ユル他ノ階級、他ノ団体  
ト共ニ世襲ノ心ヲ其拘束カラ辭放スル共同ノ事業ニ戮力シタイト思フ  
者ルコトヲ表シテ我々聖米利加人ヲ明カニシヨウ、余ハ之ヲ以テ  
進ンテ聖米利加人ノ最後ノ試練トシテ掲揚シタイ、ユコソ民主々義ノ真  
意デアル。

市民諸君ヨ、余ハ最近突如シタ或ル事象ニヨツテ、ヒトク惱マサレテ  
居タノテアル、群集心理カ我國ノ此如彼如ニ表現サレテ居ルノテアル、  
自分ハ或人々ノ言ニ共鳴ヲ感スルモノデハナイ。ガ併シ己レノ手デ己レ  
ニ罷ラ被ル人並ニモ共鳴シナイノテアル、係レテ余ハ斯カル烏合ノ集ニ

加ハル人ニ云ヘタイ、彼ハ吾國ノ自由ナ制度ニ適合シナイモノト認  
ルト。

自分ノ目的ヲ無政府主義ヤ法律ノ破壊ニ殊ル用体カ我國ニモアル、余  
ハ彼等ノ目的ヲ憎ミ嫌フコトニ於テ決シテ人後ニ慕ツルモノデナイ、反  
ツテ余ハ古往ノ正義ノ手紙ヲ尊敬スル、ソレテ余ハ昇進トシテ彼等ガヨ  
シンベ誤レルトコロアルニセヨ、正義ヲ行フ後ヲ見ル、此故ニ余ハ場  
所ト名分ノ如何ヲ問ハズ、不法ヲ精神ノ表ハレルトコロ、之レニ對シテ  
衷心カラ反抗ノ言葉ヲ吐キタイト思フテ居ル、勿論紳士諸君ハ其ノ何ノ  
意ナルヤヲ諒セラルハ、ノダ、

吾人ハ世襲最大ノ民主的國民ヲランコトヲ要求スル、而シテ民主々義  
ノ真意ハ、先ツ第一ニ吾人ガ己レ自身ヲ統治シ得ルコトニアル、若シ吾  
人ノ人民達カ自己統治ノ權ヲ知ラナイト、彼等ハ吾人ノ民主的政府ト稱  
呼スル大事業ニ適応シ得ナイモノテアル、己レ自ラ法網ニカハル人固ハ  
如何ナル形式ニ日常ノ法律制度ヲ進歩シテ見テモ後調スルコトノ出来ル

正人テハナイノデアル。

資本ト労働トノ固ノ闘争ヲ行ヘル、或ル進程ニハ、殆ント己ノ自カラ  
法網ニ罹ラントスル其ノ進程クアル、余ハ暫ラクト云モ此ノ進程ヲ、余  
ノ今既チ来ワヤ所ニ比較シヤウト考ヘルモノテハナイ、ガ保シ此ノ進程  
ハ後調ヲ喜バヌ心ノ表ハレガ単一程度ヲ異ニシテキルニスギナイコトニ  
注意サレタイ、全事態ノ示ス根本的教訓ハ只單ニ吾人ガ一級ノ評議ヲ開  
クネハナラヌコトヲ教フルノミナラス、其ノ一級評議ニ同意ヲ遵便セネ  
バナラヌコトヲ教ヘルノデアル、之ニ対スル手段ハ悉ク之レ側近ニ在ル  
ノテハナイ。

状態ノ改善出カラン

近キ將來ニコソ、新ラシキ手段カ組織サレ、之レニヨツテ現ニ進行ス  
ル種々ノ事象ガ、進行セサルニ至ル日ノアルベキコトヲ自暗スル望ミカ  
アル、労働ノ手段トカ、余計ナ労働ノ代置トカ、他市場ヘノ招請トカ、

継続スベカラザル全労働競争ノ願望トカ——雇主ノ側カラ今ハ言フガ  
——ソウシタ種々ノ進程カアル、保シテ吾人ハ公平ナ争ガ四面ニ行ハ  
レル様ナ後調手段ヲ之レニ介入セシメネハナラナイ。

余ハカウシタヤウナ手段ガ工夫セラルベキモノト望ンテ居ル、ケレド  
モ果シテコウシタ手段ガアルカチイカハ別トシテ、吾人ハ予ニアル手段  
ヲ用ヒネハナラナイ、保シテ必要アラバ、場合々々ニヨツテ生ジタカ、  
ル手段ヲ用ヒル必要アルアラユル場合ニ、吾人ハ之レヲ用ヒネハナラナ  
イノヤ。

エテ市民諸君ヨ、今ガ革盛候ヲ離レテヤツテ来々理由ト云フノハ、或  
時余ガ一人淋シク茲ニ来ウタト云フコトデアル——革盛候ニハ、争象  
カクカクナラズト云フコトヲ知ツテ居ル人ハ多イガ、合衆國ノ人民カ考  
ヘテ居ル事ヲ苟モ知ツテ居ル人ハ極メテ稀デアル、余ハ他ノ我國ノ人々  
ヲ覺醒サセテ貰ウタメニヤツテキタノデナケレハナラナイ、余ハ革ノ実  
相ニ対シテ立ツタ人々ニ會ツテ、君等カ余ト共ニアルナラバ余ハ君等ト



英ニアルト云フガタメニ来タノデアル、余ト夫ニ立ツ唯一ノ証左ハ高モ  
個人的ニ余ノ幸ヲ考ヘテ下サルコトニハアラスシテ、單ニ余ヲ以テ姑ラ  
ク里米利加人ノカト威ト望ミトノ表現デアルト考ヘテ下サルコトデアル、

### 第六章 國會ニ對スル演說

(一九一七年十二月四日)

國會ノ諸君——余ガ最後ニ諸君ニ演說スルノ先來ヲ有シテ以來ハ  
ケ月ク経過シタ、ソレハ吾人ニ取ツテ莫大重要ノ意義ヲ持ツ事件ノ騷動  
シタ月デアツタノダ、此間ニアツテ吾人ノ行ヘル狀曰ノ實際ノ宣ナル  
事項ニ関シテハ、行政部ノ報告中ニ報告セラル、コトデアラウ、余ハ唯  
ガ、ル本現ノ事件ニ付テ是等ノ形勢ヲ論ジ、吾人現時ノ義務ト、吾人  
ノ常ニ抱懷セル目的ヲ達成スル直接ノ手段ノミヲ論スルデアラウ、余ハ

戰ノ原因ニ遊ツテ之ヲ論スルコトヲロナイデアラウ、非道ヲ使遠ノ首腦  
者達ガ我等ニ加ヘ我等ニ計畫シタ許シ難キ思ヘ、莫實ノ里米利加人ニ對  
シテ、既ニ永ク、甚ダシク明瞭ニ思ハシキ限リテ示レタルガ故ニ、論ニ  
再ビ繰返スノ思ハナイ、ケレドモ余ハ諸君ガ極メテ真面目ヲ精査ラサレ  
テ我等ノ目的ト、之ニ違セントスル我等ノ手段トヲ再考考慮アラシコ  
トヲ願フデアラウ、何トナレバ此場所ニ於テ論議スル其ノ論議ノ目的ハ  
行動デアル、保シテ我等ノ行動ハ一定ノ目的ニ向ツテ進進セネバナラナ  
イ。吾人ノ目的ハ、勿論戰爭ニ勝ツコトニアル、保シテ吾人ハ、戰ニ勝  
ツ迄ハ弛緩シタム、氣保ニ方向転換ヲシタリシテハアヲナイ、ト云ハ  
何時戰ニ勝ツト考ヘルカ、ト云フ疑問ヲ起シ、之レニ答ヘルコトハ  
價値アルコトデアアルノダ、  
一面ノ觀莫カラヌレバ、此ノ根本的現象ヲ公言スルコトハ余計ナ事デ  
ハアル、疑ヒモナク、里米利加人ハ戰ノ何タルカヲ知ツテ居ル、如何ナ  
ル種類ノ結果ガ、彼等ノ抱懷スル目的ノ實現デアルカヲ知ツテ居ル、ハ

國民トシテノ我輩ハ、精神ト希望トニ於イテ一致共同ニテ居ルノダ。  
余ハ然ラサル意味ニ於テ他人ガ余ニ語ル其語ニ傾聴セハナイ。余ハ  
異議ノ声ヲ耳ニスル。——ユラ開カナイモノガ誰カアルヨ、余ハ罵  
トシテ無定見ナ煩ハレイ批評ヤ、駭言ヤヲ耳ニスル。余ハ又、平靜不撓ノ  
国力ニ対抗シテ自ラ薄弱ナ反逆ノ中ニ挺身スル人達ヲ此知彼知ニ目睹ス  
ルノデアアル。余ハ、既ヲ擣ゲ不撓ノ心ヲ以テ、平和ノ性質モ、之レニ対  
スル方法モ知ラナイ人達カ平和ヲ論ズルノヲ耳ニスル。ケレドモ、カウ  
シタ人達ガ、一人トシテ國家ノタメニ談論シテ居ルノテナイコトハ余ノ  
了得スルトコロデアアル。彼等ハ少シモ物ノ核心ニ離レテナイ。彼等ハ  
之ヲ放任シテ自ラ横柄ニ不安ナ時ヲ過サシメ、忘却サレテ了フノカ安全  
デアアル。

### 何ノ為メニ吾人ハ戦フ。

ケレ共更ニ他ノ觀莫ヨリスレハ、吾人カ行動ノ舞台ニ立ツテ茲ニ何ノ

タメニ戦ハフト考ヘテ居ルカ、其ノ大向題ノ解決ニ如何ナル彼ヲ殘セン  
トスルカヲ明言スル要ガアルト信スルノデアアル。吾人ハ亞米利加人ノ代  
言人デアアル。係シテ彼等米人ハ、彼等ノ目的ノ結果シテ吾人ノ目的デアアル  
カ否カラ和ル権利ヲ持ツテ居ル。彼等ハ惡ヲ壓倒スルコトニヨツテ得ラ  
レタ平和ヲコソ欲スレ平和ヲ妨礙シ、之レヲ不可、能ナラシメルヤノ非道  
ナ勢力ヲ、一舉ニ打破シテ、得ラル。其ノ平和ヲ欲シハエナイ。併シ彼等  
ハ、吾人ノ思想カドレホド密接ニ彼等ノ思想ト平行シ、吾等ノ模範スル  
行為ガ如何ナルモノデアアルカヲ知ツテキル。彼等ハ種類ノ何タルヲ問ハ  
ズ安快ニヨツテ得ラレタ平和ヲ探ク懐ラナク思ヒ不名誉トサヘ思ツテ居  
ル。——ガ一面ニ於テ若シ吾人ガ、吾人ノ目的ノ何デアアルカ、武器ニヨ  
ツテ平和ヲ征服シヤウトスルニ當ツテ抑々如何ナル計畫デアアルカヲ明カ  
ニシナイナラハ、彼等ハ同様ニ我等ニ対シテモ懐ラナク思フデアラウ。  
余ハ次ニニツコエトヲ言明スルニ當ツテヤ、彼等ニ代ツテ之ヲ云フモ  
ノナルコトヲ傳ズルノデアアル。ハ、彼等ノ首腦者達ガ我等ニ其醜面ヲ曝

シタ不可許ノ事象、吾人カ今ヤ、独逸ノカトシテ明瞭ニ月暗スル陰謀ト強  
カトヲ結合シタ脅威、俄爾的平和ニ對シテ意識モ名譽モ能力モナキ事象  
コレヨソ粉碎サレネヘナラナイイダ。併シテ若シユシモ全然絶對ニ導  
キ得ズトスルナラバ、セメテ被國ニ對スル各國ノ友誼的交際ヲ拒斥スヘ  
キデアル。二、此ノ事象ト其ノ勢力トガ事實破壊セラレテ、吾人ノ平和  
ヲ論スル機會ニ至レルトキ——  
独逸人カ其言ニ吾人ノ信賴ヲ置キ得  
ルガ如キ代官人ヲ得ル時、ソレテカ、ル代官人ガ、其人民ノタメニ、爾  
後世界生活ノ法律的基礎ト俄爾的基礎トカ如何ナルモノデアルカト云フ  
與ニ付キ吾國ト共同ノ斷定ヲ承認スル用意ガ出来タ時——吾人ハ善心  
勇ンデ平和ノ爲ニ全報償ヲ支払ヒ、憤シニナク其支払ヒヲスルデアラウ、  
吾人ハ其値ノ如何デアルカヲ知ツテ居ル、ソレハ元來公平ナ正義——  
最後ノ解決カ敵ト味方トニ等シク影響スル様ニ、凡エル莫、凡エル國民  
ニ何ツテ行ハル、正義デアル。  
諸君ハ大氣ニ存在スル人道ノ声ヲ余ト共ニ聞キツケル、ソレハ日毎ニ

又四

声高ニ、分明ニ、強カニナウテ行ク、併シテ、到ル所ノ人々ノ心カラ爾  
エテ來ル、其声ハ、歐ヲシテ種類ヲ向ハズ報復的ナ行爲ニ終リテ告ケサ  
セテハナラスト主張スル、ソレハ如何ナル國家乃至人民ト屬モ、單一國  
家ノ無責任ナル支配者カ自ら深ク悪ムベキ罪惡ヲ行フタト云フ理由デ、  
利奪サレタリ、罰セラレテハナラナイト語ツテキル、  
「神命ナク、權責ヲ  
ク、罰的價金ナシ」ト云フ原理ニ承認サレタル所ヨソ、右述ベテ米ツタ思  
想デアル。

### 露國人ハ誤レリ

右ノ生硬ナ原理ガ、到ル所ノ凡人ノ私利ニ付テ本來的ナ判斷ヲ表明ス  
ル其同シ理由デ、ソレハ露西亞人ヲ迷ハシメ、吾ノ屆リ限リ各國ノ人民  
ヲ迷ハシメントノ独逸者獨者ノ陰謀ニヨツテ熱心ニ利用サレクノデアラウ  
ク、其目的ハ独裁政治ノ其最後的說破的教訓カ敵ヘラレテ、世界ノ人類  
カ自らノ運命ノ支配ニ任セラレナイウキニ未熟ナ平和ヲ賣ラソウトイフ

六五

ニアツク、善用カ正意ヲ利用シタト云フ事、實ハ何故ニ正用カ正意ヲ利用  
シテカウツタノカ、ト云フ理由ニナラナイノダ、正用ハ其ノ真ノ知己ノ在  
ノ下ニコソ發ラサルベキモノデアル、機軸政略カ直代世取ニ對シテ、力  
ト指導トヲ要スルコトノ全然無益ナルコトガ、先ツ第一ニ表明サレ  
バナラヌノヲ再ビ云ハウ、現時我輩首腦者ノ左右スルカ地干勢力ヲ放任  
シテユラ破壊セザル限リ正義ノ標準ヲ適用スルト云フコトハ不可解事ヲ  
アル、斯カルオヲ阻ミ破ラヌウテハ國民間ノ仲敷者平和促進者トシテノ  
正義ハ確立サレナイノデアル、ダガ併シソレカ確立サレタトキ——必  
ズヤ神ノ御心ニヨリソウナルコト、信スルガ——吾人ハ遂ニ先例ナキ  
事業ヲ自由ニ行ヒ得ルデアラウ、併シテ今マ吾人ガ之レヲ行ハンコトヲ  
誓フデアル、吾人ハ自由ニ平和ヲ寬大ト正義ノ上ニ築キ、其ノ勝者ノ側  
ニアツテサヘ、凡ユル利益ニ對スル利己的要素ヲ排除セズベナラヌ、  
茲ニ誤解ノ生ゼザランコトヲ祈ル、吾人ノ現時直接ノ仕事ハ戦ニ勝ツ  
事デアル、併シテ此事ノ達成セラレザル迄ハ何物トモ、吾人ヲ之カラ

六六

抑エテレコトハ未ナクテアル、吾人ノ有スル凡ユル愛護カオハ、  
ソレガ人デアラウガ、金デアラウガ、原料デアラウガ、事ノ達成セラ  
ルマデ、現在ト過去トヲ向ハズ、絶エズ其目的ニ捧ケラレテ居ルノデアル、  
其目的ノ達成セラレヌウチニ平和ヲ托スメント欲スル人マニ對シ、余ハ  
彼等ノ忠告ヲ他國ニ發ラサレンコトヲ誇リタイト思フ、其ハ其ノ忠告ヲ  
顧ミナイ、

正義ト賠償

独乙人民ガ正當ニ信任セル代表ヲ通ジテ、正義ニ立ツタ解決ニ彼等ノ  
支配者ノ為レテ不法ノ賠償ヲ根柢トスル解決ニ彼等ガ何時デモ同意スル  
ト云フコトヲ、表明スル時始メテ吾人ハ戦争ニ勝ツタト見做スモノデア  
ル、彼等ハ自耳取ニ不法ナ行為ヲナシタ、コハ賠償サレバナラナイ、  
彼等ハ己レノ國土ニアラザル作ノ國家人民ノ上ニ力ヲ確立シタ——  
即チ埃甸國ノ大帝國ニ、衣索自由國デアウツタバルカニ、土耳古ニ、

六七

臣細亞内ニ、叔カヲ樹立シタリ——ソレハ抛棄サレズ<sup>六八</sup>ベナラナイ。彼等  
カナシタ技術上、産業上、知識上、企業上ノ成功ニ対シテハ吾人ハ猶ミ  
モ、及対モシナイ。及ウテユラ賞讃シタ。彼乙ハ世思ノ平和ニヨウテ保  
証サレタ交易ト努力ノ実質的帝國ヲ自ラ建設シタノデアワタリ。吾人ハ独  
逸ノ成功ニ包含サレタ製造、科學、商業ノ相敵關係ヲ承認セシメ、吾人  
カ彼國ヲ凌駕スル願カト先制力ヲ持テルト持テザルトニヨウテ或ハ立テ  
或ハ報テゴトニ満足ニ来ワタ。ケレドモ彼國カ若ク平和ノ勝利ヲ獲得  
シタ利那ニ於テ、彼ハ之ヲ波瀾シテ、之ニ代フルニ世思ガ最早其ノ確立  
ヲ許サハル所ノモノヲ確立セントシタリ——即チ彼國ガ最モ怖レ懼ンダ  
トコロノ敵者ヲ凌駕スルコトノ出来又場合ニユニヨウテ他ヲ打トントス  
ルアノ武器ニヨル軍事上、政治上ノ制約ヲ確立セントシタリテアル。  
吾人ノ望ム平和ハ其ノ不逞ナ好意ノ結果ヲ懸サネハナラナイ。其ノ平  
和ハ曾テ美レカリシ國土ヲ、自耳敵ノ幸福ナ人民ヲ、北部及蘭西ヲ、普  
魯西ノ征服ト普魯ノ脅威トカラ救ハネベナラナイ。一ガニ於テ、ソレハ

又埃匈國ノ人民ト、バルカンノ人民ト、土耳其ノ人民トハ其ノ政權巴ニ  
アルト臣細亞ニアルトテ同ハズ。普魯西ノ軍隊ノ專制、商業專制ノ無味  
背馳シタル制約カラ救ハネベナラナイ。  
併シテラ吾人ハ埃匈帝國ヲ何チカノ方法テ損傷シタリ雖モ直ニ直ニ  
ヤウト思ハナイコトヲ言明スル義務ヲ自ラ己レニ負フテ居ル。彼等ガ自  
ラ生活ヲ産業的乃至政治的ニドウシマウト、吾人ノ困シタ事デハナイ。  
吾人ハドノ道カラシテモ、彼等ニ命令ヲシヤウトモシナケレバ、之レヲ  
シタクモ思ハナイ。吾人ハ唯、彼等ノ事務ガ事ノ大小ヲ同ハズズウ彼等  
自身ニ委ネラル、ヲ見タイト思フ許リテアル。吾人ハバルカン半島ノ人  
民ノタメニ土耳其帝國ノ人民ノタメニ彼等ノ生活ヲ安全ナラシムル権利  
ト概念トヲ保証シ、彼等ノ革命ガ抑圧ト不正トヲ受ケナイ様、外國ノ朝  
廷乃至政府ノ命令ヲ受ケナイ様ニ保証サレシコトヲ望ムデアラウ。併シ  
テ孰乙其物ニ対スル吾人ノ態度ト目的トハ、之レ又右ト同ジテアル。

吾人の獨逸ニ對スル態度

吾人ハ独乙帝國ニ對シテ何等ノ害悪ヲ加ヘヤウトハ思ヘナイ。彼等ノ内政ニ干渉シヤウトモ思ヘナイ。吾人ハ吾人ノ幸福又ベキコトヲ声明シ。吾人ノ國民トシテノ生活中極メテ神聖ナラシメント聲明シテ原則ニ對シテ絶對的ニ不當ニシテ絶對的ニ相及スルアレヤコレヤヲ判定セネバラナイ。

独乙人民ハ、彼等ヲ欺クニ委セタ人々、彼等ノ首腦者トシテ行動スルニ委セタ人々カラ、カウ云フコトヲ云ヘレテ平ル。即チ彼等ハ、彼等ノ帝國ノ其ノ生活ト存在トノタメニ戦ヒツ、アル。同列ノ侵略ニ對スル決死ノ自己防禦ノ戦ヲ戦ヒツ、アルンダト云ヘレテ居ル。カクモ全ク傍若無人ノ虚偽ハナイ。テ吾人ハ吾人ノ眞ノ目的ニ對シ、バカラノ公明ト勇氣トヲ持シテ其偽リタルコトヲ彼等ニ説破シヤウトセネハナラナイ。吾人ハ事實上吾人自身ノ解放ト並ンテ彼等ヲ恐怖カラ解放スルタメニ戦ツテ

若ルンデアル。恐怖カラ解放シテヤルノミナラス、世界大戦後、近隣ノ敵者ヤ策士カラ不幸ナ攻撃ヲ受ケルト云フ事實カラ解放シテヤル木ハナラナイ。独乙帝國ノ存在ト独立ト平和的專業ヲ養成シヨウトスルモノハ一人モナイ。

独乙人ノ損失ニホリソウナ最モ不利ナコトハ即チ次ノ如クテアル。若シモ彼等ガ戦争終結後尚依然トシテ世間ノ平和ヲ攪乱スルヲ興味トスル野心ニ満チタ陰謀皆腦者達、世間ノ他ノ國民達ノ信頼ヲ得又人々ヤ人々ノ階級ノ下ニ余儀ナイ生活ヲ純ケテ行クナラバ、爾後、世間ノ平和ヲ保証スベキ國民ノ仲間ニ入レルコトガ出来ヌノテアル。其仲間タルヤ人民ノ仲間デアラネバラナイ。單ナル政府ノ仲間デアウテハナラナイ。斯カル不便ナ状態ニ搦テ、更ニ他ノ事實上ノ平和ノ仲間カラ不可解約ニ發生スル自由經濟貿易ニ独乙ヲ参加セシムルコトモ亦不可取ニナルデアラウ。ダガ其中ニハ何等ノ侵略モナイノテアル。不信任ノ結果トシテ避ク難イカ、ル事實ハ遂カレ早カレ、物亦來ノ性質上、必ズヤ之レニ

固定スル手紙ニヨリテ、自ラ治養セラル、ヲデアラウ。 七二

### 中心列強ノ権利

此ノ戦争ニヨリテ行ハレタ不法、極メテ深刻ナル不法ハ至正サレナケ  
レバナラナイノデアアル、ソレハ勿論デアアル、ケレ共独乙ト其同盟國ニ對  
シ、シツペ返シノ不法ヲ果スコトニヨリテ匡正ハサレナイ、世更ハ報償  
ノ方法トシテ、解決ノ方法トシテシツペ返シノ不法ヲ行フコトヲ許サナ  
イデアラウ、政治家達ハ既ニ世更ノ実論ト云フモノガ到ルトコロニハツ  
キリト目醒メテ、暗黙ノ向題ヲ先介ニ理解シテ居ル、コトヲ知ツテ居ルデ  
アラウ、如何ナル主權國ノ代表ト雖モ、維納會議ヲ結ハレタ様ナ利己安  
慢ノ會商ヲ設ミルコトニヨリテ、敢テ此ノ實論ヲ無視スルコトハマルマ  
イ、我國ト全世界到ル所ニ居ル凡人ノ思想、何等ノ特權ヲモ享ケズ、  
極メテ純朴正當ナ正邪ノ標準ヲ持ツタ人々ノ思想コソ、爾今凡ユル政府  
ガ、其ノ存続ヲ欲スル限り、呼吸セズバナラズ大氣デアアル、凡ユル政策

ト云フモノガ世更生活ノ真要綱ニ抱懷サレ執行サレズバナラヌト云フコ  
トハ、右ノ思想ヲ開放シテ表ハサレタ光明ノ中ニ見エルノデアアル、  
独乙ノ人民ガ、独乙支配者ノ庇護ノ下ニ、世更ノ他ノ國民ト思想ニモ  
目的ニモ伴同トナルコトヲ許サレナカウヲ許ツリニ、独乙ノ支配者ハ世  
更ノ平和ヲ願ヘシマセタノデアラウ、彼等独乙ノ人民ハ、彼等ノ上ニ威  
カヲ行使スル人々ニ對シテ、行為ノ規範トシテ、打テ建テラレタ人民  
自身ノ意見ト云フモノヲ、持ツコトヲ許サレナカウヲデアアル、ケレ共  
此ノ戦争ヲ終結セシムル會議ハ到ル也、自由人ノ心中ニ流レ胸奥ニ秘ッ  
メル其ノ思想ノ全辨カヲ感スルコトデアラウ、  
又上述ヘ来ツタ所ニ卷クニレ現時ノ大戦ノ初マル当初ヨリ眞實デアツ  
タコトデアアル、條シテ余ハ若シ以上ノコトガ当初ヨリ明瞭ニサレテ居タ  
ナラバ、露國人ノ同情ト熱誠トハ同盟ノ味方ニ加ハツテ論ルトコロナリ  
猜疑ト不信ガ地ヲ松ワテ、結局信實取入ノ目的ト、融合ガ見ラレタコト  
デアツタデアラウニ思ハサルヲ得ヌ、若シ彼等ニシテ、其ノ革命ノ瞬

向ニ於テ、何ノ事柄ヲ信シタナラバ、ソレテ若シ彼等ニシテ、爾来ソノ  
信念ニ接ラゲトコロカナクツタナラバ、秩序立ツク安固ナ自由人ノ政府  
ニ何ツテ進行シ来ツタ彼等ノ事務上ノ通程ニ此来着レイ訓印ヲ打ツタア  
ノ非シイ道義ハ、之レヲ避ケ得ラレタデアラウモノヲ。

### 矯弊物トシテノ真理

愚西里人ハ、独乙人ヲ暗黙ニシタ其ノ同シ誤謬ニヨツテ蒙毒サレタノ  
デアツタ、而シテ其ノ害毒ハ実ニ同シ手ニ依ツテ之レヲ行ハレタノデア  
ツタ、只唯一ノ可能約除弊物ハ真理デアアル、コレコソトレ程明瞭ニサレ  
ドレ程度々言明サレテモ是ルコトノナイモノデアアル。  
サレバ如何ナル觀望ニ立ツテ見テモ、コウシタ目的ヲ声明シ、一月ト  
隠テ、余ガ声明スル自由ヲ得タトコロノ言葉ニ特殊ノ解釋ヲ付スルト云  
フコトハ余ノ本務デアルト考ヘラレル、吾人々戰ニ参加シタコト其事ハ、  
戰ノ終ルト共ニ、来ルベキ解決ニ對スル吾等ノ態度ヲ改変スルモノテハ

ナイ、去ル一月、世界ノ國家ハ只單ニ海上ノ自由航行ニ權利ヲ有スル許  
リテナク、此航路ニ確定無條件ニ出入シ得ル權利ヲ有スト余ガ声明シタ  
ルトキ、余ノ心中ニハ、其時モ今モ代リナイガ、吾人ノ贊助ト交換トヲ  
要スル弱小國家ノミガアツタノテナク、強大ナル國家ヲ思ヒ、現ニ戰争  
ニ從事シテ吾人ノ味方ニエツト國家並ニ現ニ敵トナツテ居ル國家ノコトヲ  
思フテ居ツタノデアアル。余ハ、セルヒア、ポーランドノミナラズ、殊ニ  
埃太利其輪ヲ事ヲ為ヘテ居タ、今モ尚ホ然リデアアル、正義ト權利ノ均等  
トハ大ニ値ヲ松ツテコソ得ラレル、吾人ハ世界ノ平和ノタメニ姑息ナラ  
サル永久約基礎ヲ取メテ居ル、併シテ熱心ニヒルマズ之ヲ求メネバナラ  
ナイ、常ニ然リデアアルガ真理ハ恣意ノ計トナルデアラウ。  
然ラバ現時ノ自由ト正義ノ大戦争ヲ努メテ正シキ結末ニ至ラシムルニ  
ハ如何ニシタラコイカ、吾人ハ成功ヲ妨害スル凡ユル物ヲ至ラ又限ナク  
除クセネバナラヌ、併シテ我等ノ有スル全能力、全勢力ヲ、戰争單位ト  
シテ自由ニ充分ニ使用シ得ル様、之レヲ内省ナラシムル法律ハ凡テ改廢



埃太利ニ對スル戰

我等ノ行手ニ存在スル一ノ面倒ナ障礙ハ、吾人ハ茲乙ト戰ツテハキルガ、其ノ同盟國ト戰ツテハキナイト云フコトヲアル、サレハ余ハ國會ガ直テニ布告ヲ發シテ合衆國ガ埃匈國ト戰單狀ニアルコトヲ聲明セラレシコトヲ衷心ヨリ進言スルモノヲアル、カウ云ツタカラトテ、ソレカヒ未余ノ諸君ニ説キ未ツタ論旨ノ結論トナルノヲ諸君ニハ不思議ニ感セラレラテアラウカ、ソウハ感セラレナイ、事実上、之レハ余ノ座ベタ折ノ趣旨ノ不可離ノ論理ナル、埃匈國ハ、茲レハラウ出ノ相手ノ女主人デハナイ、ガ独逸政府ノ奴僕ニスギナイノヲ。吾人ハ、此ノ最前ナ仕事ニ當ツテハ在ルカマ、ノ事案ニ直面シ此ノ事實ニ立脚シテ感情故キヲ行動セネバナラナイ。

埃匈國ハ自ラノ發案ニ基イテ行動シテ居ルノデモナケレバ自國々民ノ

希望ヤ、感情ニ依ジテ行動シテ居ルノデモナク、他國ノ傀儡トシテ動イテ居ルノデアル、吾人ハ自ラノ力ヲモツテ之カ力ニ對抗シ、中心列強ハ只一ツナリト認メルモノヲアル、之ヲ指イテ他ニ戰單ヲ首尾ヨク導イテ行ク方途ハナイ、之ト同ヘノ論理ハ又土耳其、ブルガリアニ對シテモ實戰ヲ布告スルニ至ラレムル、彼等ハ又独乙ノ道具ナル、タカ彼等ハ單ナル道具ニスギズシテ未ダ吾人ノ行動ヲ必要トスル直接ノ行路ニ立ツテハイナシ、吾人ハ此戰ノ必要ニ由ラレテ、戰單ガ吾人ヲ運ブ所ハ、何知マデモ行クノテアル、ケレ共直接實際的ナ約因ガ吾人ヲ導ク如ヘ大ニ行力ナゲリヤナラナイト考ベラレル、他ハ敢テ惠ニ介スル所デハナイ。

更ニ物價ヲ制限セヨ

近來ノ経路ニ微スルニ國會ハ更ニ進シテ、政府カ物價ノ制限ヲナサントスルヲ極力又ヘキモノト信スル、イリマシイ故、需要供給ノ原則ハ、貧乏能クナキ利己ノ法則ニヨツテ置キ換ヘラレタ、吾人ガ諸方面ノ産業

ノ附利行為ヲ排除シテ其間ニ、ソレハ依然他方面ニ走ツテ傍若無人ニ跳梁スル。例へば農人デアルガ、食料品価格ノ規定ガ、農人ノ收入ヲ制限スルニ當リテ、彼ノ購へるモノハナラヌモノノ物價ノ上ニハ何等ノ制限モ加ヘラレテオナイデハナイカト彼等ガ不平ヲ云フ。其ノ云フ所多量ニ尤モノ莫カアル。シカモ之ト同ジイ不衡平ハ折在ニ得ラレルノデアル。我國ノ水カヲ充分ニ使フト云フ案件及ビ米穀聯邦政府ノ支配下ニアル自然の富源ヲ経済的ニ發展セシムル案件ハ出来ル丈テ早リ之レニ着手シテ断然組織的ニ処理スベキデアル。コハ必要欠クヘカラサル所デアレ。カリ立法ヲナス必要ニ迫ラレテ居ルコトハ日ヲ追フテ次第ニ明カニナツテ来ル。

我外國貿易ニ対シ、更ニ有效ナ收調的団体ト其ノ方法トヲ提供センガタメニ、輸入者間ニ規約上ノ聯絡ヲ設クレタメニ前議會ニ提議マラレタ立法案ハ凡ユル手段ヲ尽シテ本會期ニ完了セラレベキデアル。併シテ余ニ次ノ如キ附見ヲ發表スルコトヲ下院ノ諸君ガ御赦シアラン

コトヲ願フ次第デアル。即チ若シモ戦争力違当ニ支持サレテ國會モ又軍一委員會ニヨリ凡ユル特種法案ヲ起草審議スルト云フ其昔ノ方法ニ甘ンシテ後歸シ、因ツテ以テ其責任ヲ集中シ、經費ヲ標準立テ、之ヲ一様ニシ、浪費ト増額トヲ出末ル大ケ避ケルコトヲエナイナラバ今後モ細細セサルヘカラザル公金ノ巨額ノ出費ヲ処理スルニハ、何レニセヨ極メテ浪費的ナ發展ナマリ方デ之ヲ処理セサルヲ得ナ

### 戦ノ勝利

ヨシンバ余ガ若シ戦争ニ関スル、最も有效ナ行為トシテ、行ハナケレバナラヌコトヲ見逃ヌコトガアツタトシテモ、諸君ノ御評議アルナラバ其ノ厭滿ヲ補ヒ得ベシト信ズル。余ノ完全ニ存知スル所ハ、即チ本會議ニ際シテ吾人ノ全注意ト、精カトガ戦ニ勝ツト云フ大事業ヲ元氣ヨク急激ニ首尾ヨリ実行スルコトニ集中サレネバナラヌコトデアル。吾人ハ更ニ熱心ト熱誠トヲ擧ゲテ之ヲナサバ目的ヲ達シ得ルノデア

ル。何トナレバ吾人ハ此ノ戦争ガ吾人ニトツテ征服若クハ採奪ト云ツ  
クヤウナ利己的野心ニヨツテ敗績サレバハ高尚主義ノ戦デアルコトヲ  
知ツテ居ルカラデアル。何トナレバ吾人ガ吾人ノ生活ニテ居タ其ノ制度  
ヲ望遠ト破壊トカラ匡救シヨクトシテ此ノ戦争ニ捲キ込マレタコトハ吾  
人モ知リ世果モ知ツテ居ルカラデアル。中心列強ノ目的ハ吾人ノ信ズル  
凡テノモノ、其ノ核ヲ直接ニ打ツカラテアル。彼等ノ戦争方法ハ人道  
ノ大義ト武士的名誉ノ根本義ヲ攪乱スル。彼等ノ陰謀ハ我人氏多クノモ  
ノ、恩恵精神ヲ墮落セシメタノテアル。彼等ノ非道陰謀ナ外交ハ吾人ノ  
領土ヲ奪等ノ手カラ剥奪セントシ各州ノ聯合ヲ裂カウトシタ。一度彼等  
ノ勝利ニ任ズレバ吾人ノ安全ハ最早終リヲ告ゲ、吾人ノ名誉ハ永久ニ汚  
サレテ侮辱ヲ受ケルニ至ワタデアラウ。彼等ハ民主主義ト自由トノ存在  
ヲ打ダントシテ居ルノデアル。

敵ノタメニモ味方ノタメニモ、唯々正当ナ意思トノミヲ含ム其結果ヲ  
企図センガタメニ、吾人ガ二重ニ緊張ノ心ヲ感ズル所以ノモノハ其戦ガ

高尚公平ナ目的ヲ眼目トシテ、叔則ノ擁護ノタメニ全世界ノ自由人ガ不  
ク結束シテ戦デアリ。主義目的ヲ重ンズル我回ト凡ユル他ノ国家トヲ維  
持スルタメノ戦デアルカラデアル。

名分ハ正當神聖ナルカ故ニ、ソノ解決ハソレニ相成セル動機ト性質ト  
ヲ有スルモノデアラネハナラヌ。吾人ノ伝統ヨリ年々キモノ、価値倍キ  
モノナヘナカリセバ、此ノ為メニハ吾人ハ戦モ厭ハヌノデアル。

此ノ名分ノタメニ吾人ハ戦ヲ始メタノデアル。ソレテコノ名分ノタメ  
ニコソ、吾人ハ最後ノ大砲ノ火蓋ガ切ラル、追戦フデアラウ。

余ハ全世界ノ闘争ノ熱ト誠トノ最中ニアツテモナ木且ツ之ヲ知ル様  
ニ、明瞭ニ諸ル必要ノアル中ガ来タト感シタノデ明瞭ニ祈恩ヲ陳述シリ  
併シテ吾人ハ吾人ノ全思想力、戦ヲ其終リニ至ラシムルニアルトキ、直  
米利加ノ名ヲ諸国家間ニアラシメタアノ觀念ヤ主義ヲ忘レ、ナカウタ  
吾人ヨリ前ニ去ツタ大時代ニ対シ吾人ヲエテ光榮アル戦是ヲ感ゼシメタ  
アノ觀念ト主義ヲ忘スルコトヲシナカウタ。

正史上卓越レタ神國カヤツテ来タ、人民ノ眼ハ開ケラレテ、物ヲ見テ  
 居ル。神ノ御手ハ國家ノ上ニ置カレテ居ル。若シ彼等ガ、クツキリトシ  
 タ神ノ正義ト思ミトノ高サニ上ツテ行キサヘレタトラバ神ハ惠ヲ垂レ給  
 ハン。カウ自分ハ衷心ヨリ信レテ居ル。

大正十五年六月廿一日 印刷  
 大正十五年六月廿四日 発行



編輯兼 発行者 石井 辰雄  
 東京市本郷区六丁目十四番地  
 東京市本郷区菊坂町二五番地  
 印刷所 中正社



Handwritten text in vertical columns, likely in Chinese characters. The text is arranged in several columns, with a central section containing a diagram or seal. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely.

Top section: 大正十一年...

Middle section: 中華民國十一年...

Bottom section: 中華民國十一年...



83  
239

8

終